

研究紀要・年報

縄文の森から

From JOMON NO MORI

第18号

始良市加治木町干迫遺跡の出土資料紹介（2）

鹿児島県立埋蔵文化財センター

鹿屋市小牧遺跡で出土した駿河湾系土器について

北園 和代

鹿児島県内における中世のトイレ遺構
—科学分析により裏付けされた諏訪ノ前遺跡のトイレ遺構を中心に—

平嶺 浩人

薩摩・大隅における火打石の登場と石材

藤木 聡

令和6年度 年報

鹿児島県立埋蔵文化財センター

2025. 10

『縄文の森から』第 18 号 目 次

始良市加治木町干迫遺跡の出土資料紹介（2）

鹿児島県立埋蔵文化財センター・・・・・・ 1

鹿屋市小牧遺跡で出土した駿河湾系土器について

北園 和代・・・・・・ 39

鹿児島県内における中世のトイレ遺構 —科学分析により裏付けされた諏訪ノ前遺跡のトイレ遺構を中心に—

平嶺 浩人・・・・・・ 45

薩摩・大隅における火打石の登場と石材

藤木 聡・・・・・・ 57

令和 6 年度年報・・・・・・・・・ 65

始良市加治木町干迫遺跡の出土資料紹介（2）

鹿児島県立埋蔵文化財センター

Introduction of excavated materials at the Hoshizako site, Kajiki-cho, Aira City (2)

Kagoshima Prefectural Archaeological Center

H要旨

始良市加治木町に所在する干迫遺跡の発掘調査では、遺物ケース約 3,000 箱にも達する大量の遺物が出土した。報告書（文献 1）での掲載は限定的にならざるを得なかったことから、当センターでは遺跡の実態解明に資するためのさらなる基礎資料とするため、未発表の遺物についての情報を少しずつ整理・紹介していく作業を継続して実施しているところである（文献 2, 3）。今回は縄文時代後期中葉の市来式土器関連の資料を取り上げる。

キーワード 干迫遺跡, 市来式土器, 草野タイプ, 縄文時代後期中葉

はじめに

鹿児島県始良市加治木町日木山に所在する干迫遺跡は、九州自動車道と東九州自動車道に繋がる隼人道路の連結点である加治木ジャンクション建設に伴い、鹿児島県立埋蔵文化財センターによって発掘調査された遺跡である。

縄文時代後期中葉の遺構・遺物を中心とした膨大な出土品の情報について、これまで何回か整理・公開してきたがところであるが、まだまだ発表の機会を待っている資料が多く残されているのも事実である。

記録保存の精度を高め、干迫遺跡の実態解明につなげる資料とするため、今回は市来式土器について追加紹介することとしたい。

なお、発掘調査自体の経緯や経過、整理作業や報告書作成作業については、前回取り上げたのでここでは割愛させていただくこととする（文献 3 参照）。

1 紹介資料の概要

今回取り上げる市来式土器は、鹿児島県いちき串木野市市来町川上に所在する市来貝塚の出土資料を標式とする土器である。大正年間から学界に紹介され、九州を代表する縄文土器として古くから知られてきた（文献 4, 5）。

ちなみに、図 1 は市来式土器の概要資料をまとめたものである（文献 10）。

繰り返し述べるように、干迫遺跡からは膨大な量の出土品が発掘されたが、その中心はほぼ縄文時代後期中葉期のものであった。中でも全体の約 60% が市来式土器。それに後続すると考えられる前回取り上げた丸尾式土器を含めると全体の約 75% であった。

ここで、干迫遺跡の本報告書（文献 1）において示された出土土器の分類について、確認しておく。

報告書では縄文土器をまずⅠ～Ⅲ群に分類。第Ⅰ群が縄文時代早期から後期前葉の土器、第Ⅱ群が縄文時代後期中葉を中心とした磨消縄文系土器、そして第Ⅲ群が縄文時代

後期中葉の貝殻文系土器を中心とする一群とした。今回取り上げる市来式土器は第Ⅲ群で、関連する土器型式等も含め抜粋したものが以下の分類である。

- 第Ⅲ群第 1 類 ～ 市来式土器 1
- 第 2 類 ～ 市来式土器 2
- 第 3 類 ～ 市来式土器（無文）
- 第 4 類 ～ 草野式土器
- 第 5 類 ～ 丸尾式土器
- 第 6 類 ～ 台付皿形土器

これらのうち、今回は第 2～4 類と 5 類の一部について紹介する。遺物番号は前回からの通し番号である。

第Ⅲ群第 2 類（図 2～11 173～269）

口縁部がいわゆる「断面三角形」状を呈する市来式土器の深鉢の中で、文様が胴部まで施されるもので、河口貞徳氏の市来Ⅲ式土器（文献 6, 7）に該当する。

二枚貝の貝殻腹縁部を利用した貝殻刺突文をはじめ棒状施文による刺突文や沈線文等を組み合わせて文様を構成したものである。中には 256 や 264 のように山形口縁の頂部下位に把手状装飾部を貼付したものもある。

ちなみに第Ⅲ群第 1 類土器は、文様が胴部まで及ばない市来式土器である。

第Ⅲ群第 3 類（図 12～16 270～290）

口縁部形状が市来式土器の特徴を有しながら、文様が施されていない土器である。

第Ⅲ群第 4 類（図 17～29 291～391）

河口貞徳氏によって型式設定されたいわゆる草野式土器である（文献 8）。従来市来式土器に後続する土器型式として認識されていたが、本田道輝氏によって市来式土器のある段階と並行して存在したもの（文献 9）として捉え、ここでは市来式土器の中の草野タイプと呼称する。

第Ⅲ群第 5 類（図 30 392～400）

第 5 類は丸尾式土器である。市来式土器に後続する土器型式と考えられる丸尾式土器については、前回紹介したが、

今回掲載した9点は、口縁部が断面三角形状から「く」の字状に変遷する、まさにその過程の特徴を有するもので、丸尾土器としては最古段階のものと考えられる資料である。

2 出土分布状況から

図31は干迫遺跡の遺構配置図である。発掘調査では縄文時代後期中葉の堅穴住居（建物）跡や集石遺構・土坑などの遺構が多く検出されたが、調査区の中央部をほぼ東西に横切る自然河川（流路）跡（R1と略称）は特徴的であった。

R1は幅約15m、長さ約100mに渡ってゆるやかに蛇行するような形状で検出された。残念ながら、実際には高速道路高架橋の橋脚建設工事によって、調査区内のおおよそ半分は削平されていた。

このR1では多くの遺物が検出され、図32にあるように、今回紹介する市来式土器や草野タイプもF20区やG15区、H13区等のR1内で多く出土した。両者及び前回紹介した丸尾式土器の分布傾向に大きな違いは見られない。このことから、市来式期から丸尾式期にかけての生活エリアに大きな変化はなかったものと考えてよさそうである。

おわりに

以上、干迫遺跡の第Ⅲ群第2～4類土器：市来式土器（草野タイプを含む）と5類土器：丸尾式土器の追加資料を紹介した。

前述のように、干迫遺跡出土遺物については、今後も機会を作り、順次紹介していきたいと考えている。

【引用文献】

- 1 鹿児島県立埋蔵文化財センター 1997『干迫遺跡』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 22
- 2 鹿児島県立埋蔵文化財センター 2003『中原遺跡』第3分冊 鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 54
- 3 鹿児島県立埋蔵文化財センター 2024「姶良市加治木町干迫遺跡の出土資料紹介(1)」『研究紀要・年報 縄文の森から』17
- 4 山崎五十麿 1921「薩摩国日置郡西市来村貝塚に就て」『考古学雑誌』11-12 日本考古学会
- 5 三森定男 1938「先史時代の西部日本（上）」『人類学先史学講座』1 雄山閣
- 6 河口貞徳 1986「先史時代」『松元郷土誌』松元町郷土誌編さん委員会
- 7 河口貞徳 1991「市来貝塚―昭和36年の発掘について」『鹿児島考古』25 鹿児島県考古学会
- 8 河口貞徳 1957「南九州後期の縄文式土器」『考古学

雑誌』42-2 日本考古学会

9 本田道輝 1989「市来・一湊式土器様式」『縄文土器大観』4 小学館

10 前迫亮一 2023「市来貝塚の市来式土器―昭和36年調査（河コレクション）の整理から―」『愛媛考古学』

27 愛媛考古学協会

（文責：前迫亮一）

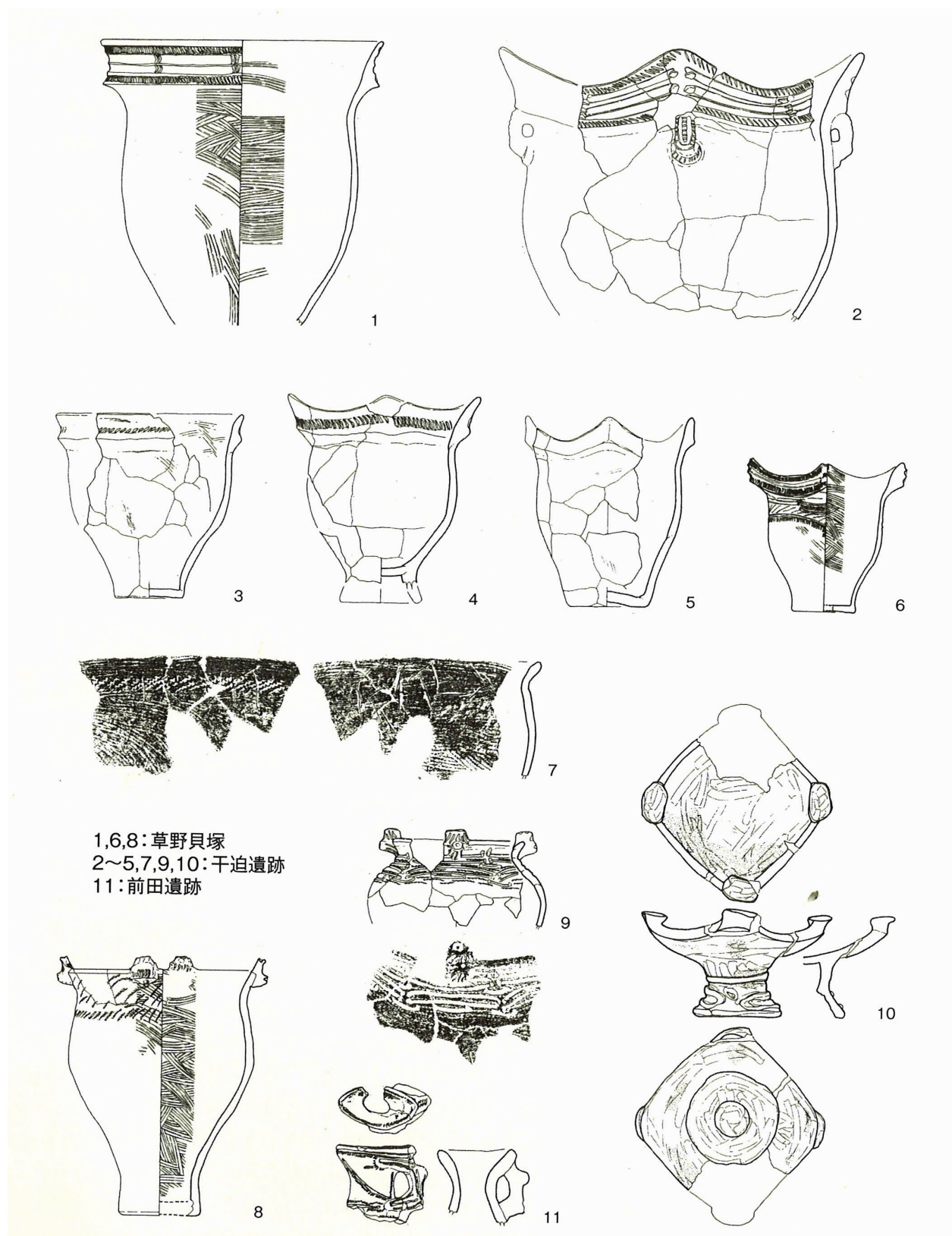


図1 市来式土器の概要

1~6: 深鉢 7~9: 深鉢（草野タイプ）
10: 台付皿（鉢）形土器 11: 舟形口縁壺形土器
（文献10より）

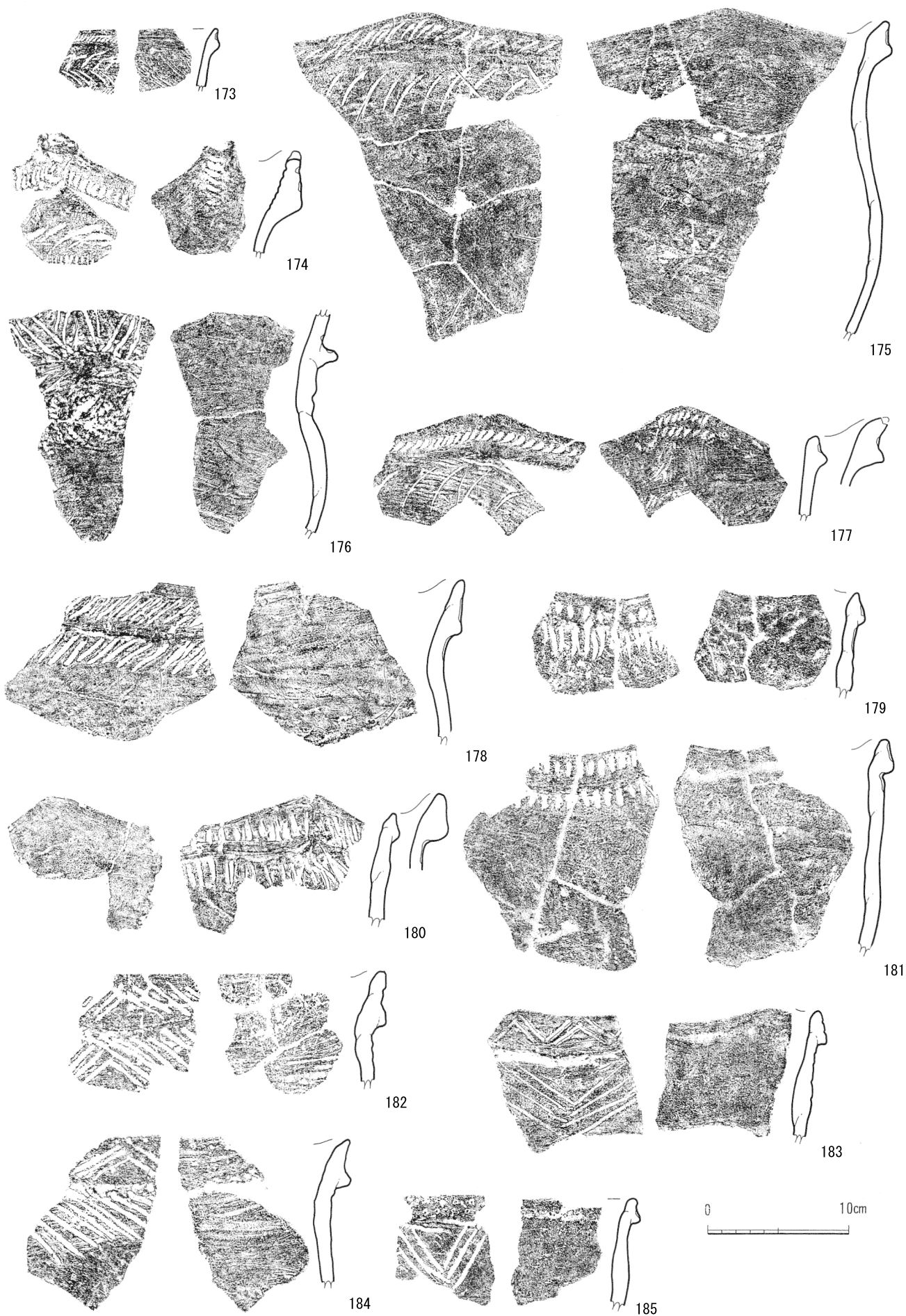


図2 縄文土器 (1)

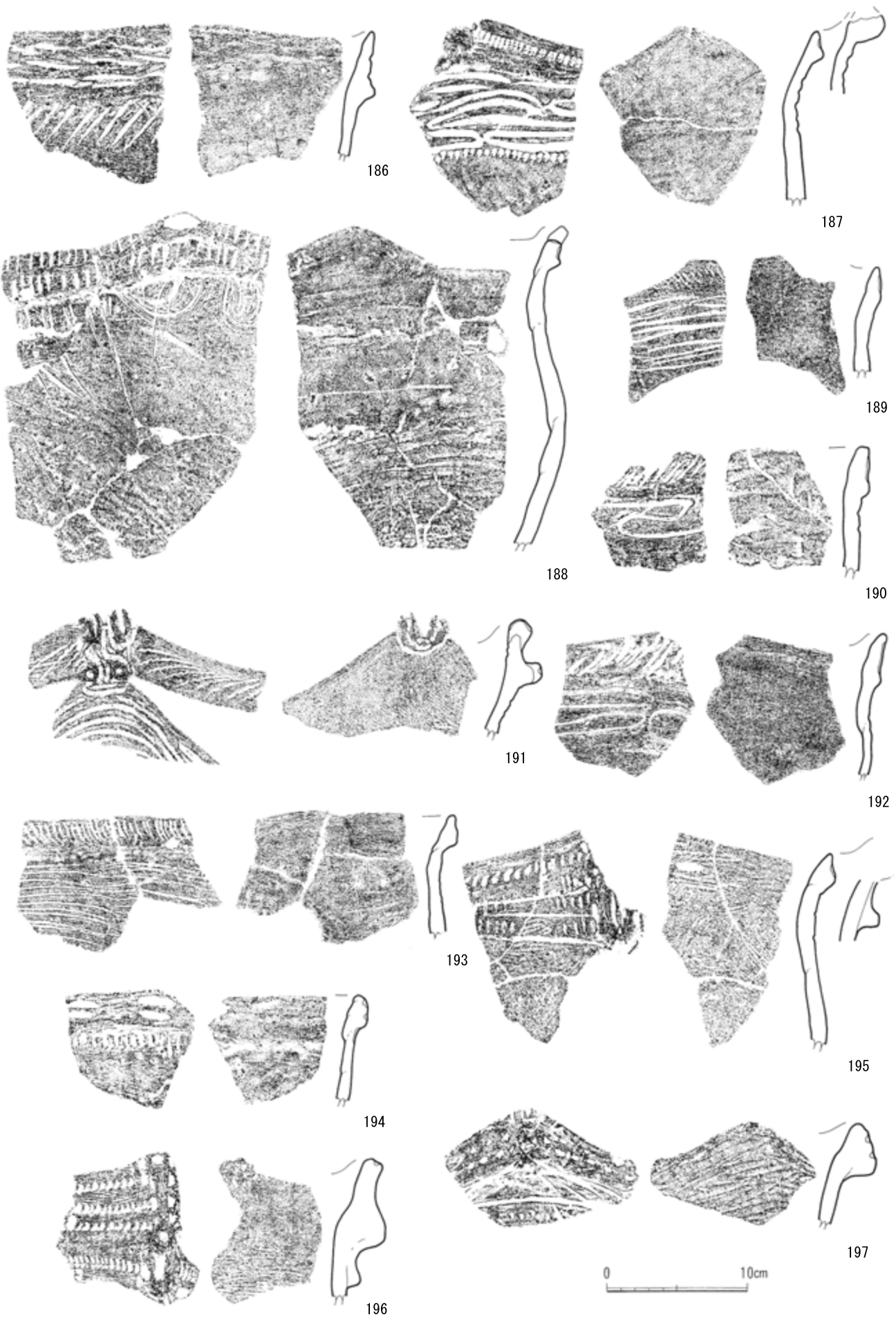


図3 縄文土器 (2)
5

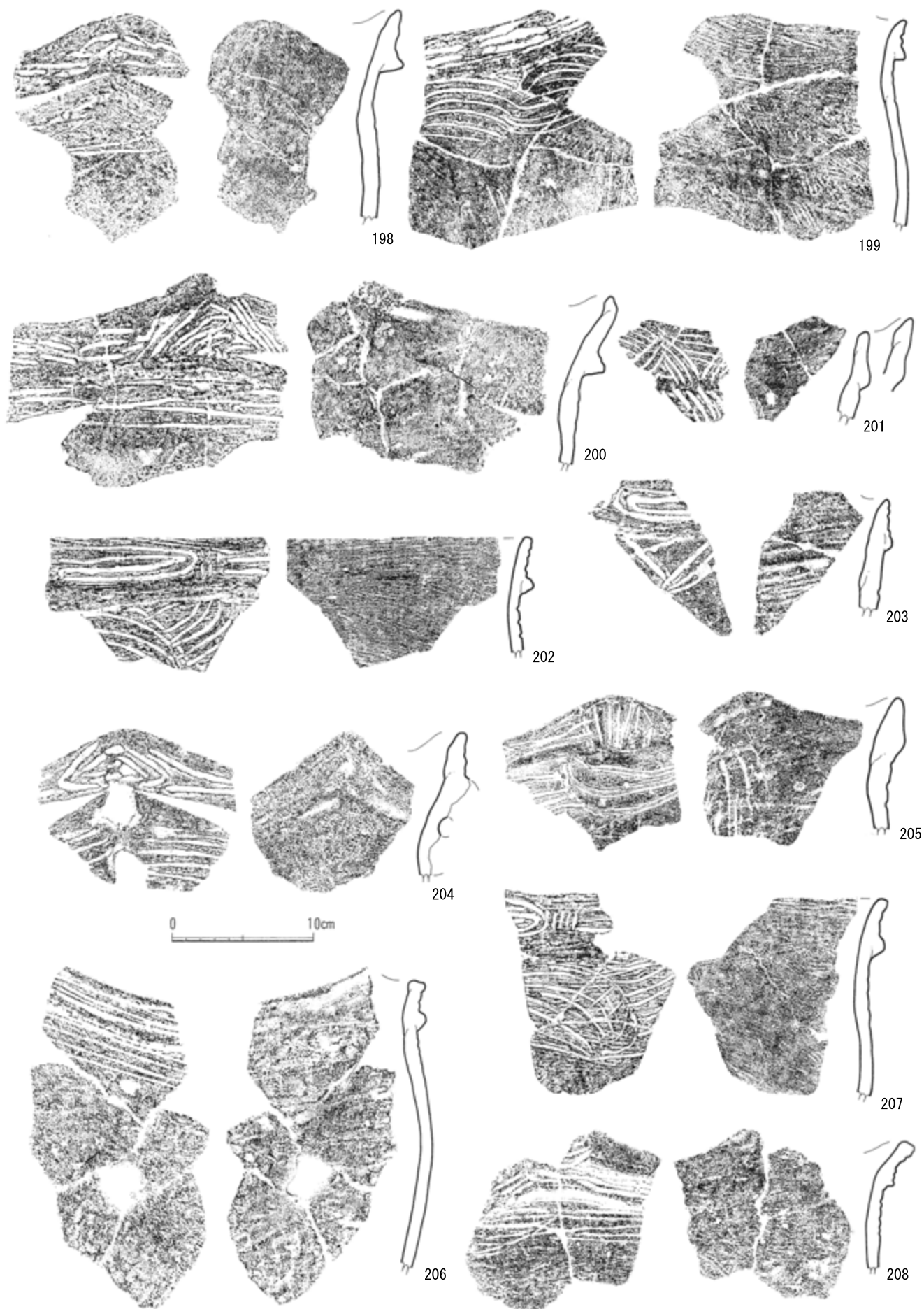


図4 縄文土器 (3)



図5 縄文土器（4）

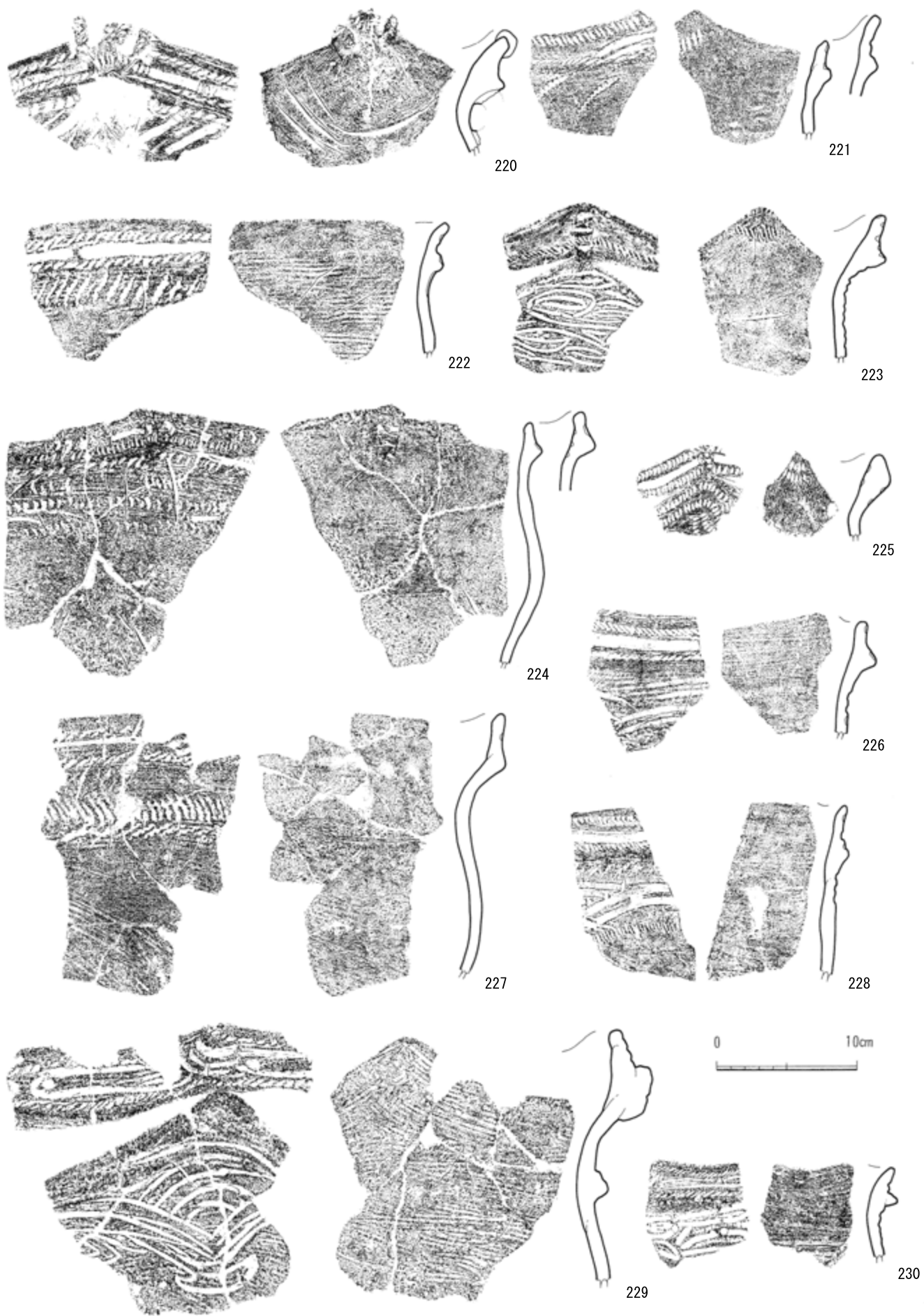


图6 绳文土器 (5)

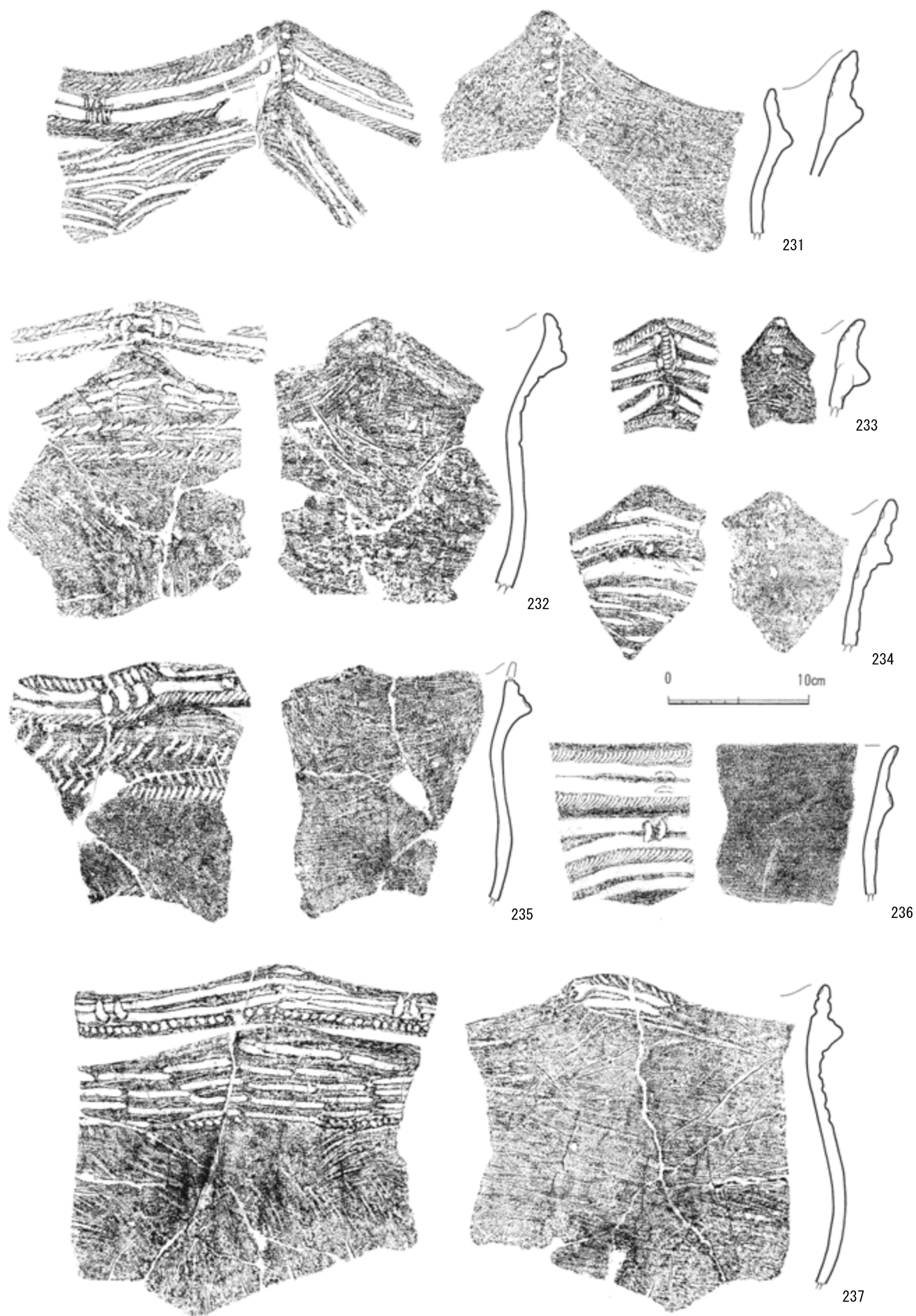


図7 縄文土器(6)

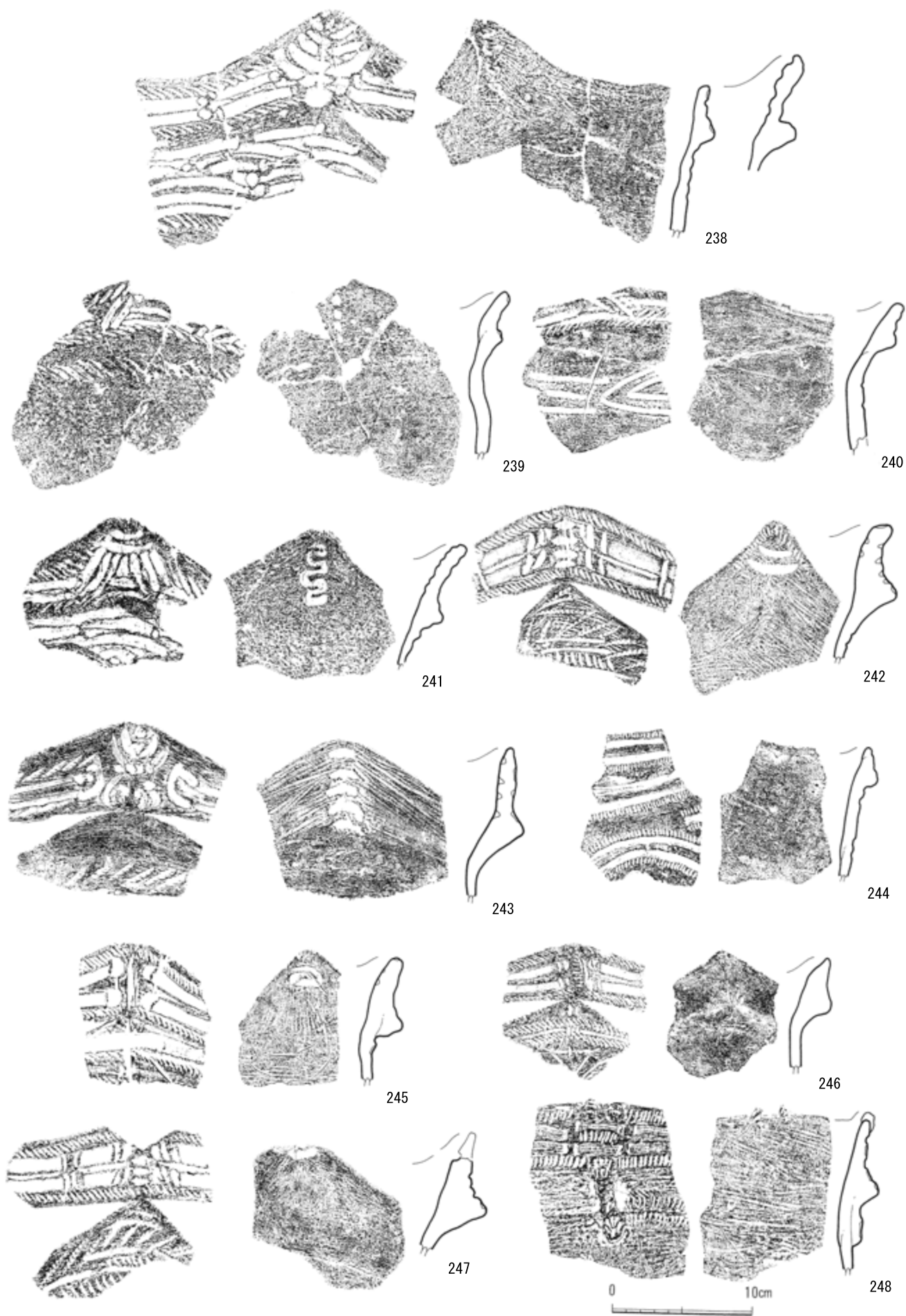


図8 縄文土器 (7)

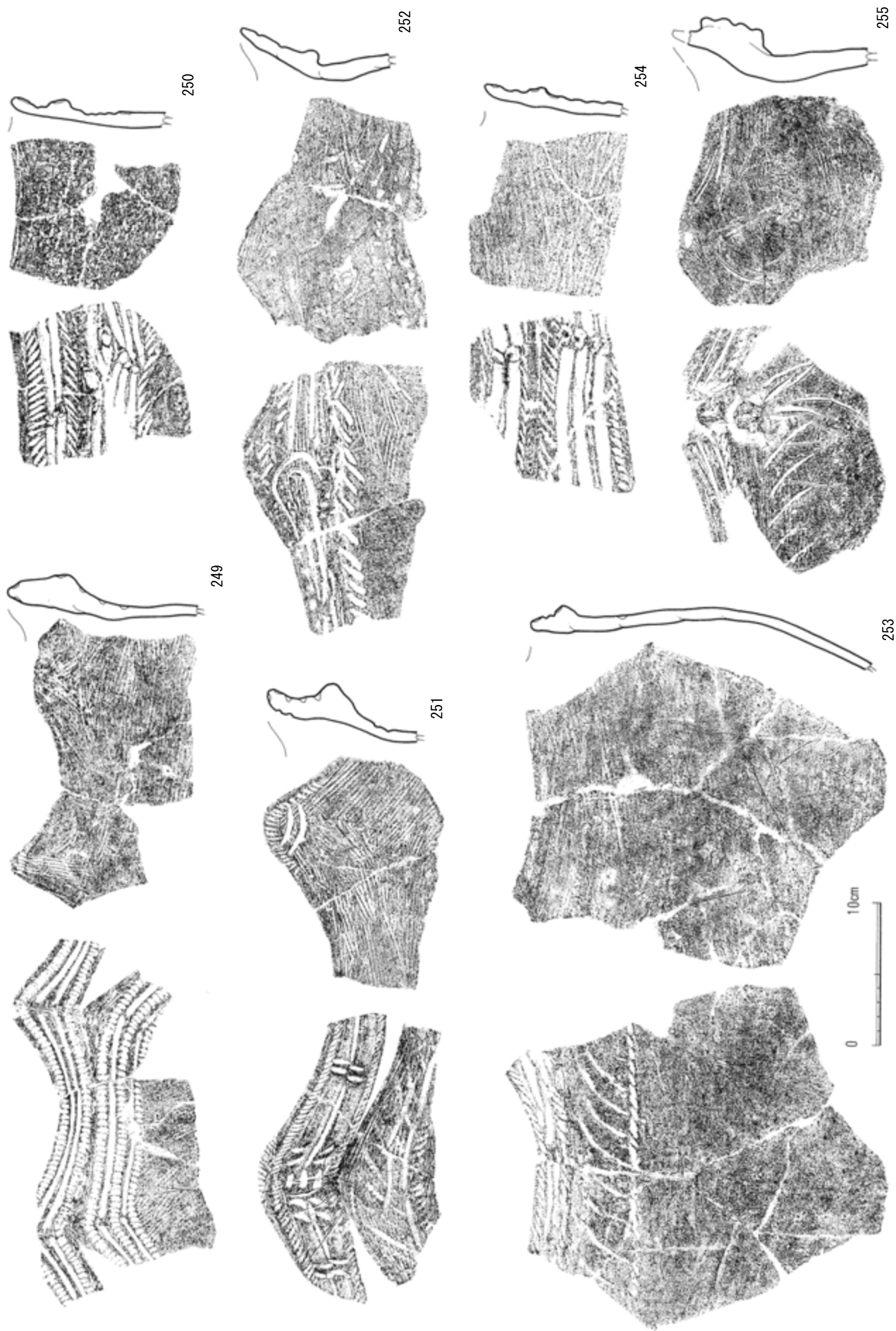


図9 縄文土器 (8)

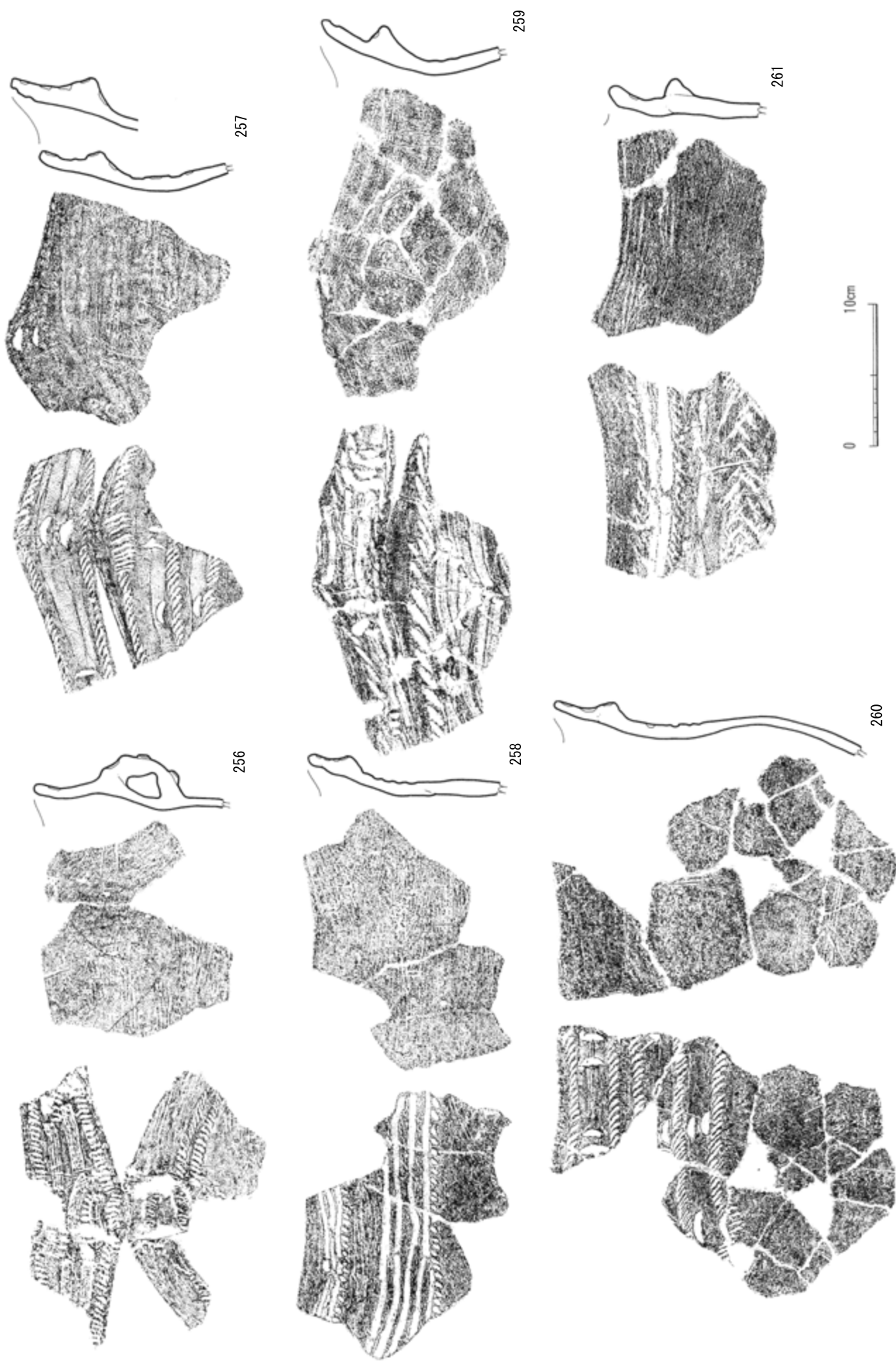


図10 縄文土器 (9)

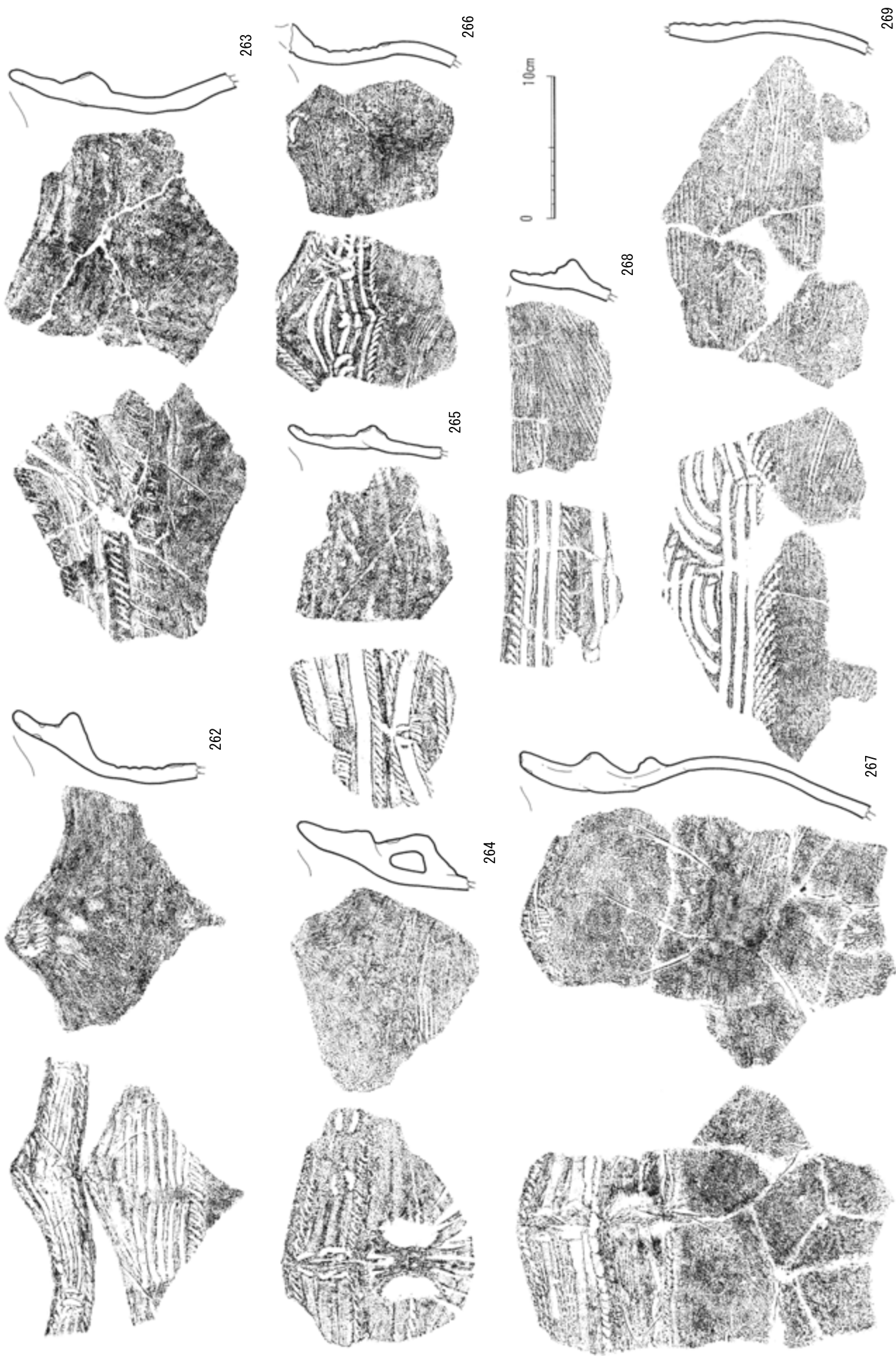
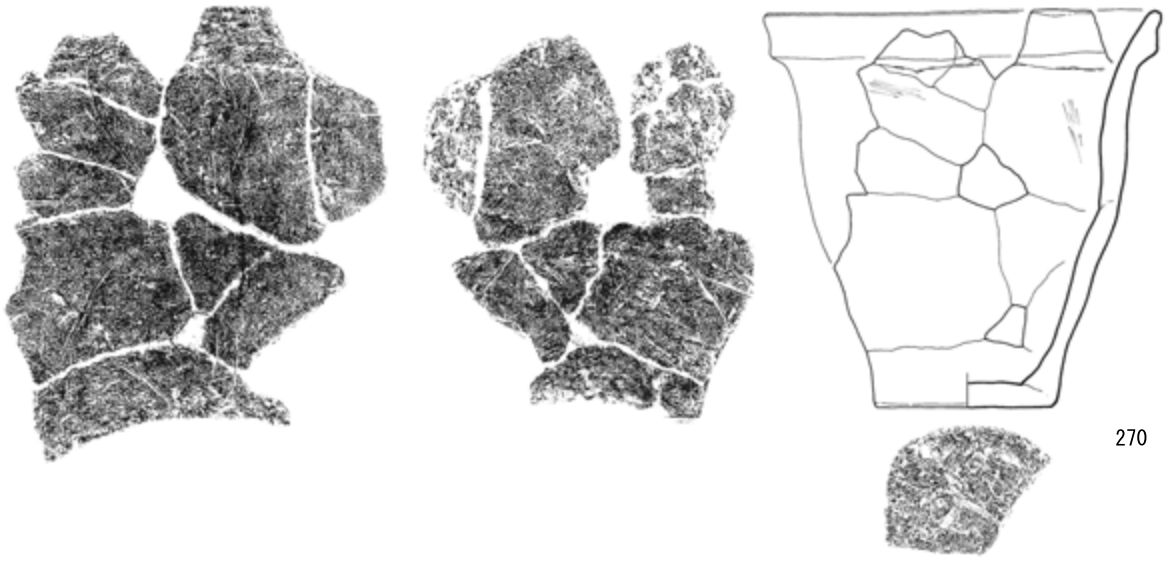
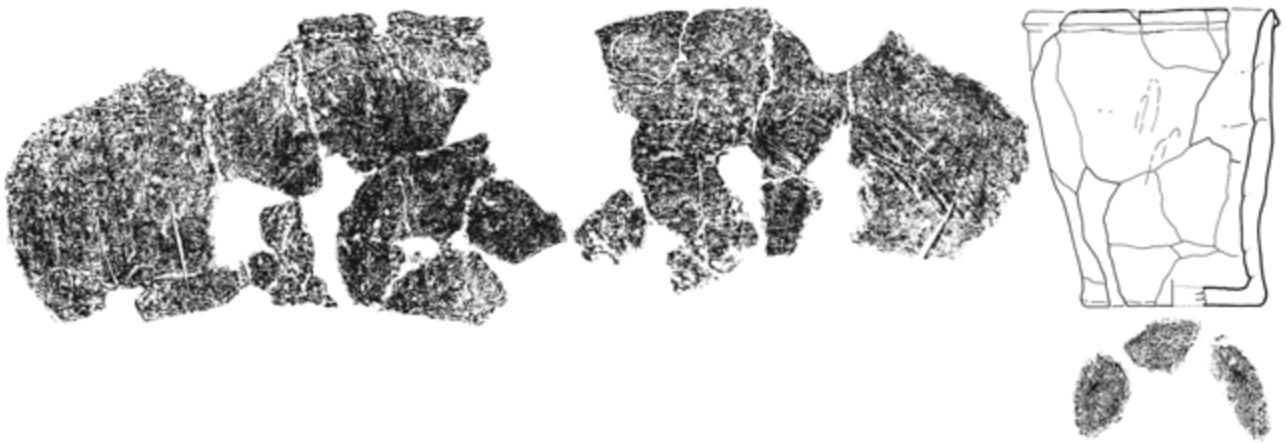


图11 縄文土器 (10)

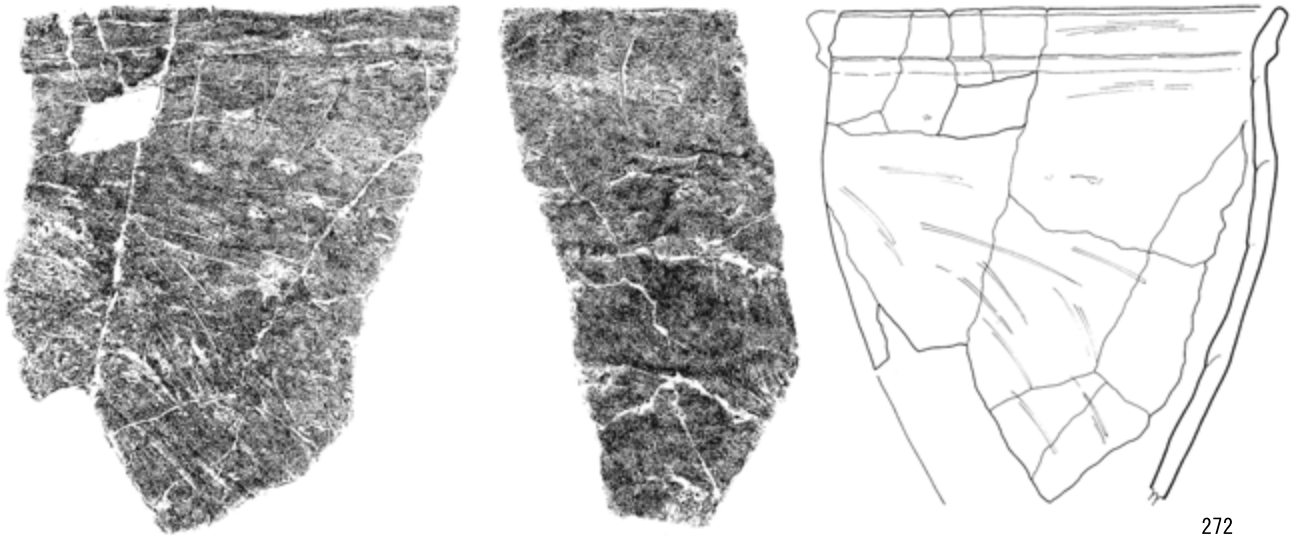


270



271

0 10cm



272

図12 縄文土器 (11)

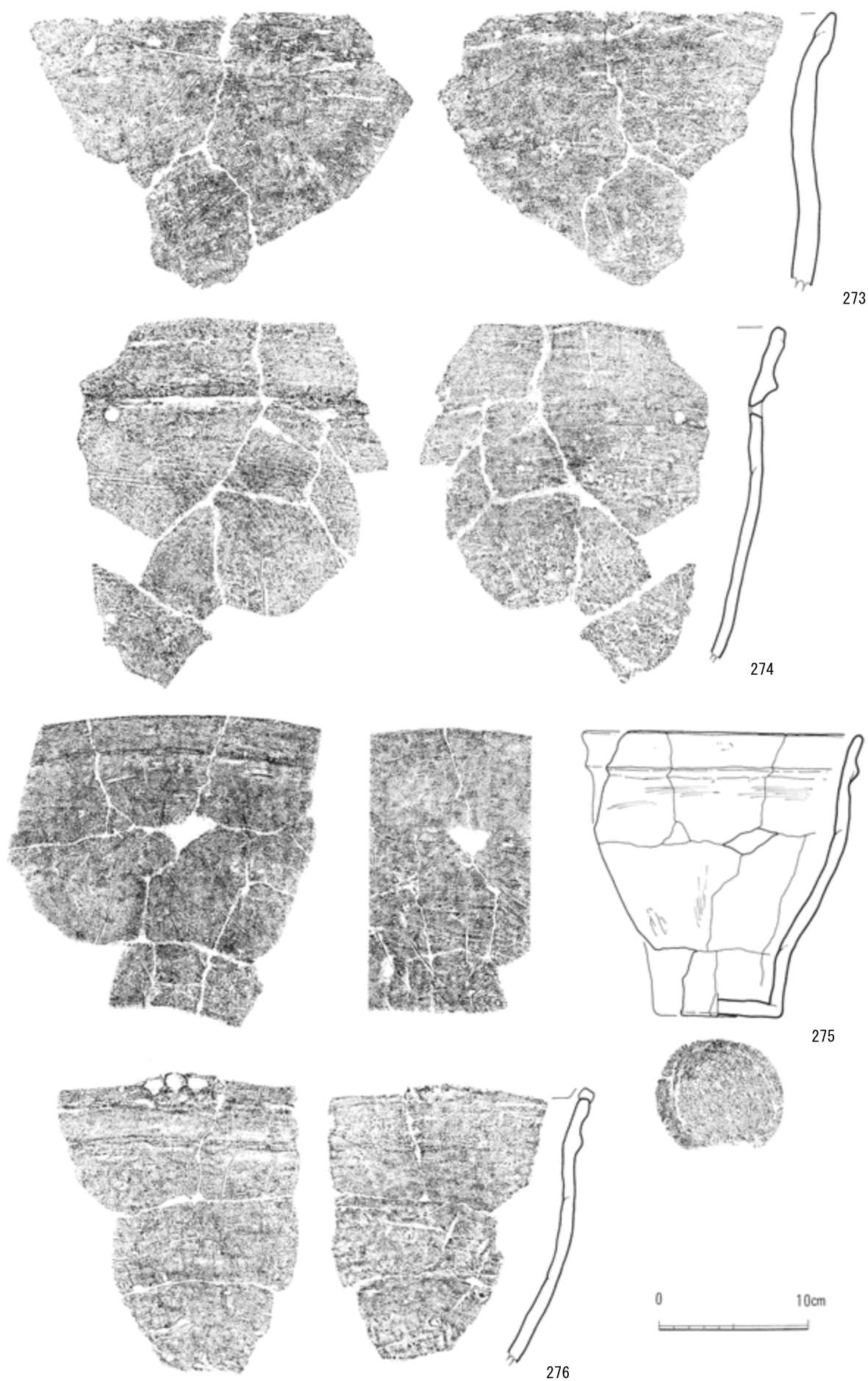


図13 縄文土器 (12)

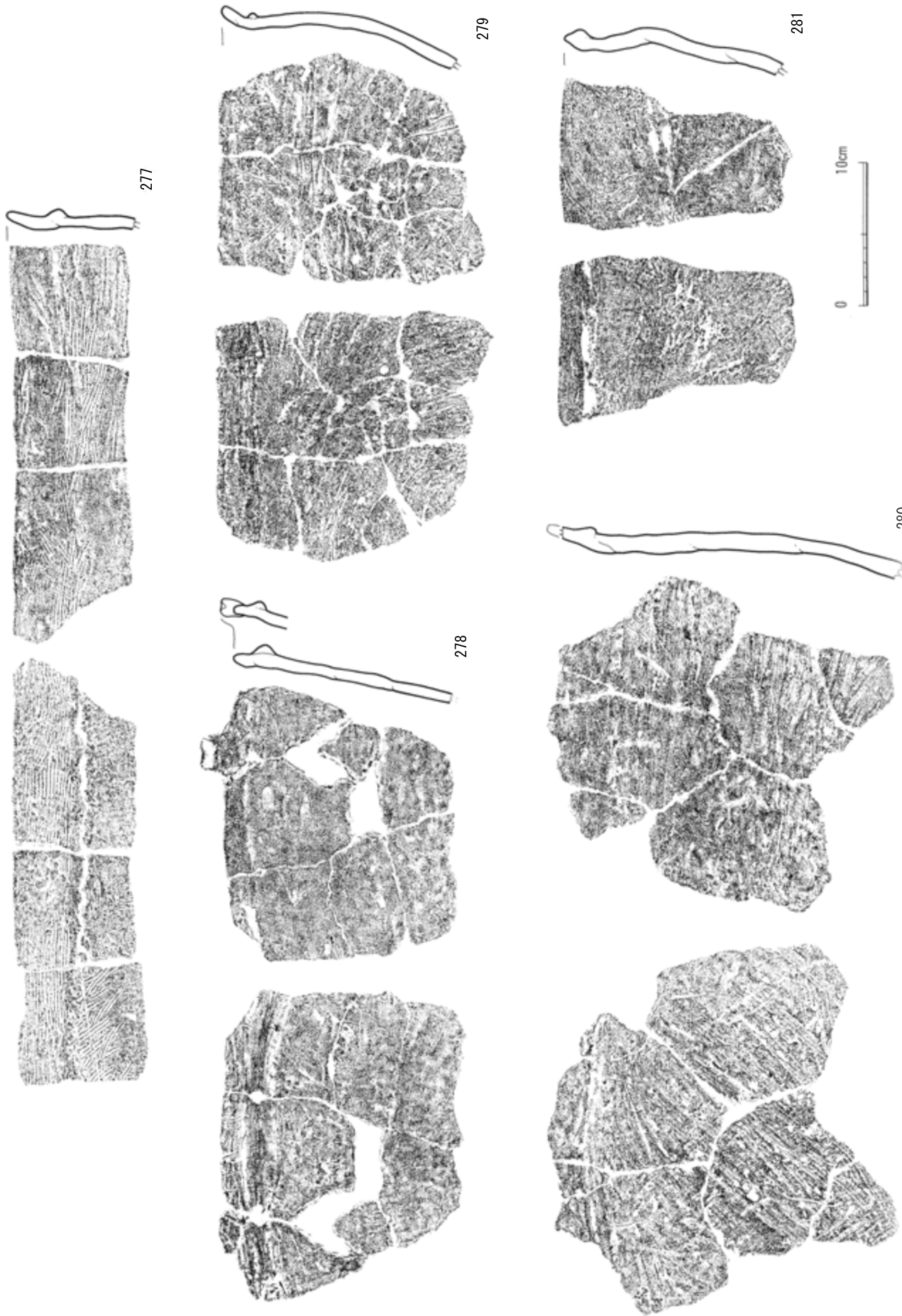


図14 縄文土器 (13)

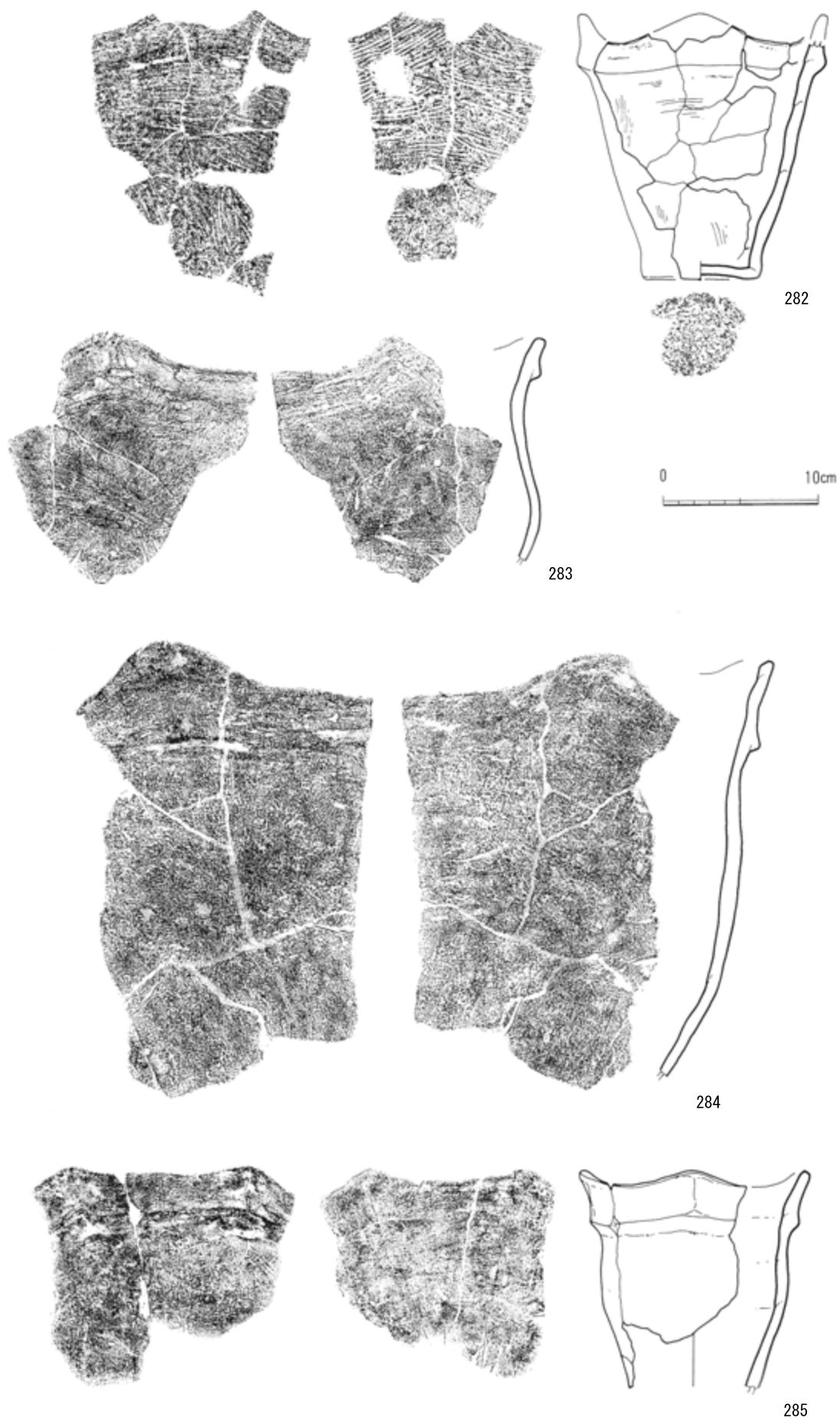


図15 縄文土器 (14)

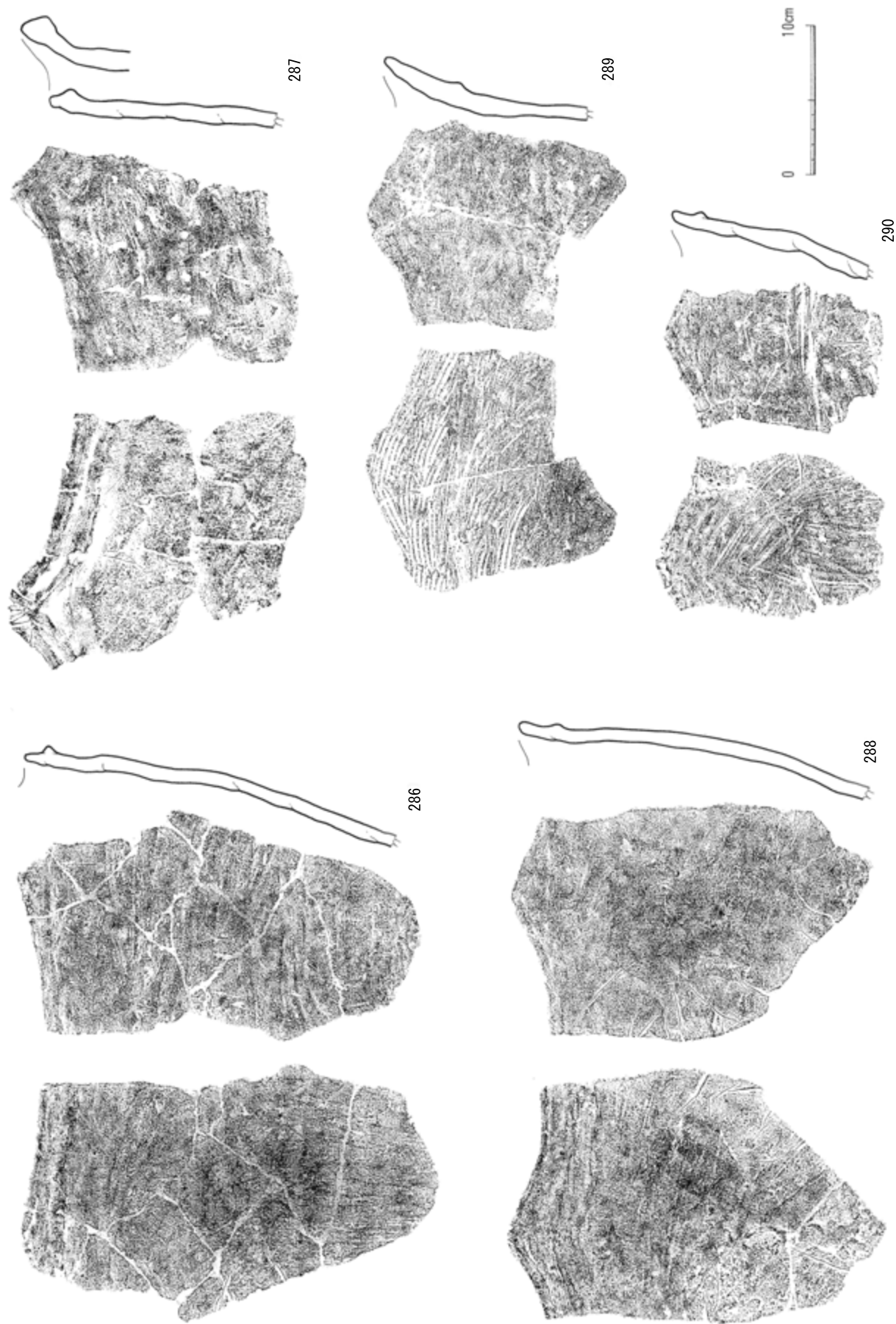


図16 縄文土器 (15)

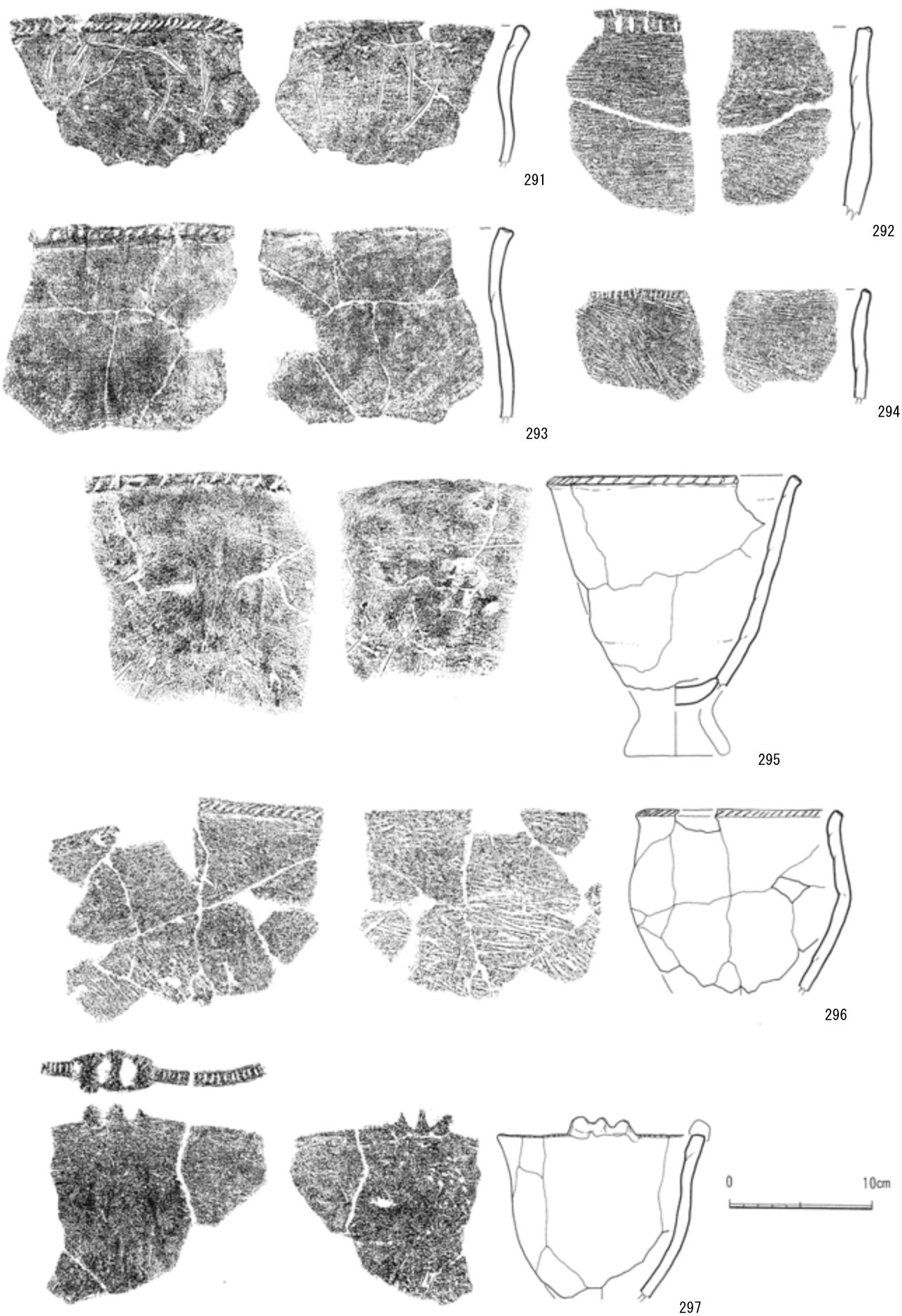


図17 縄文土器 (16)

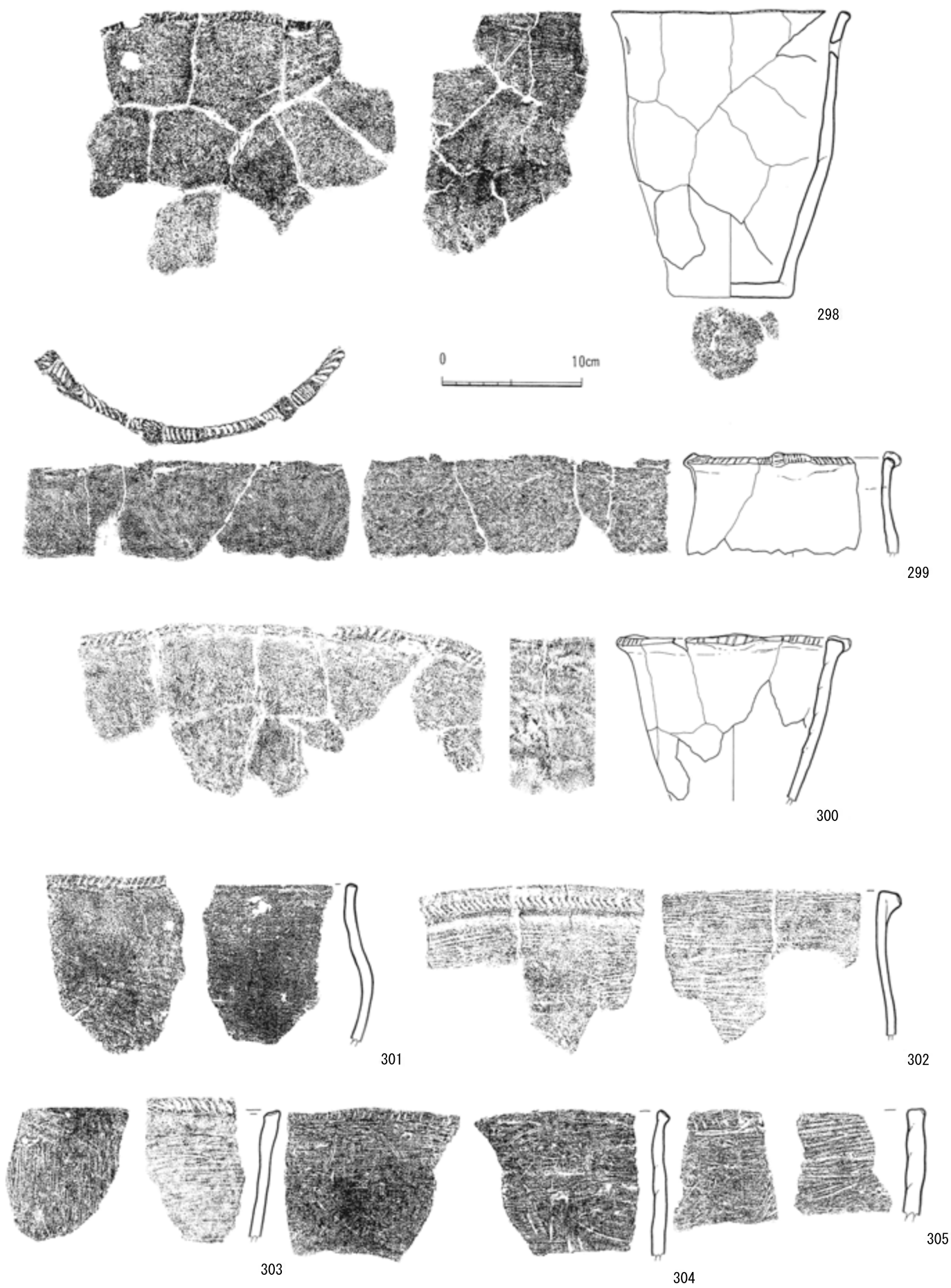


図18 縄文土器 (17)

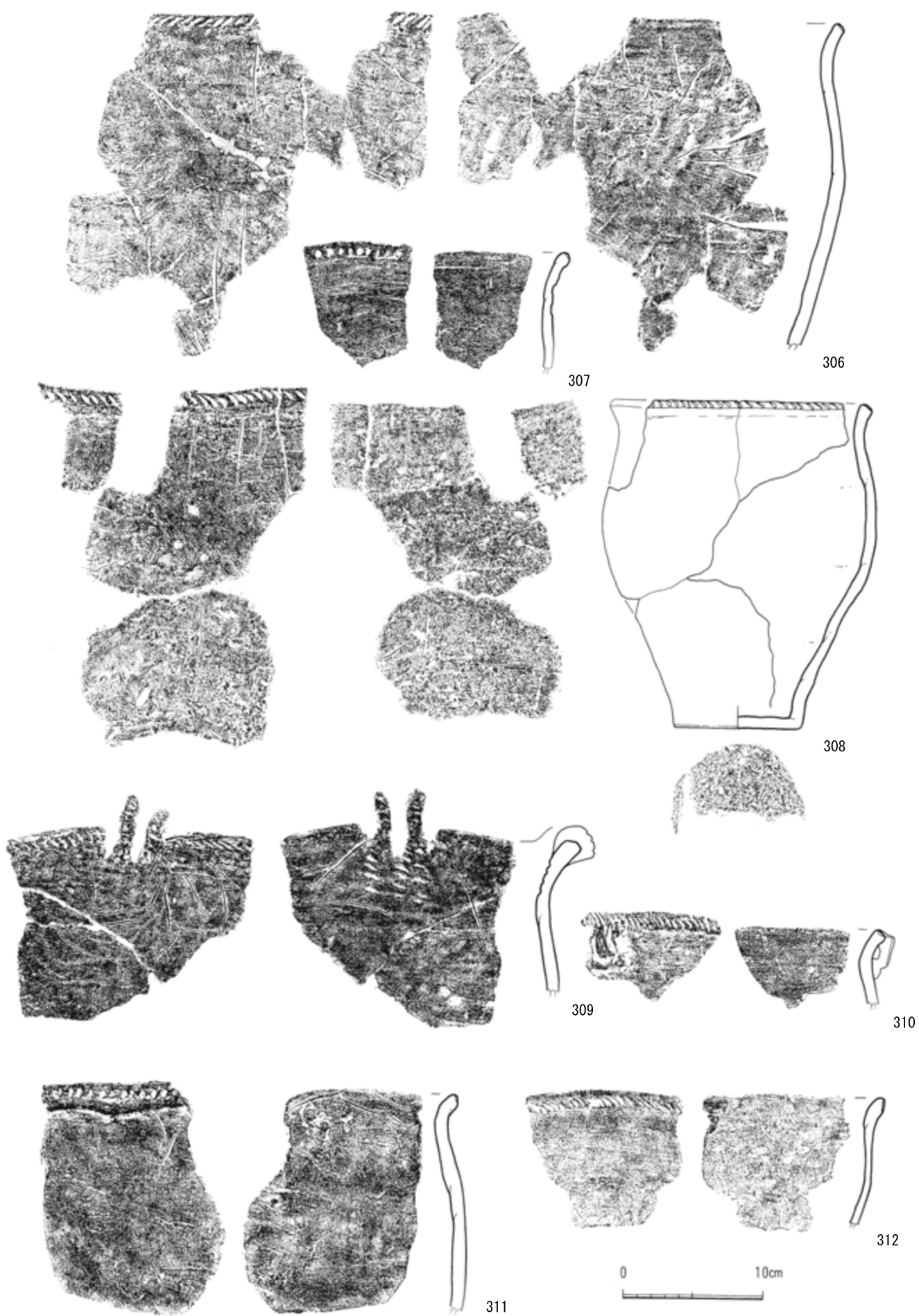


図19 縄文土器 (18)

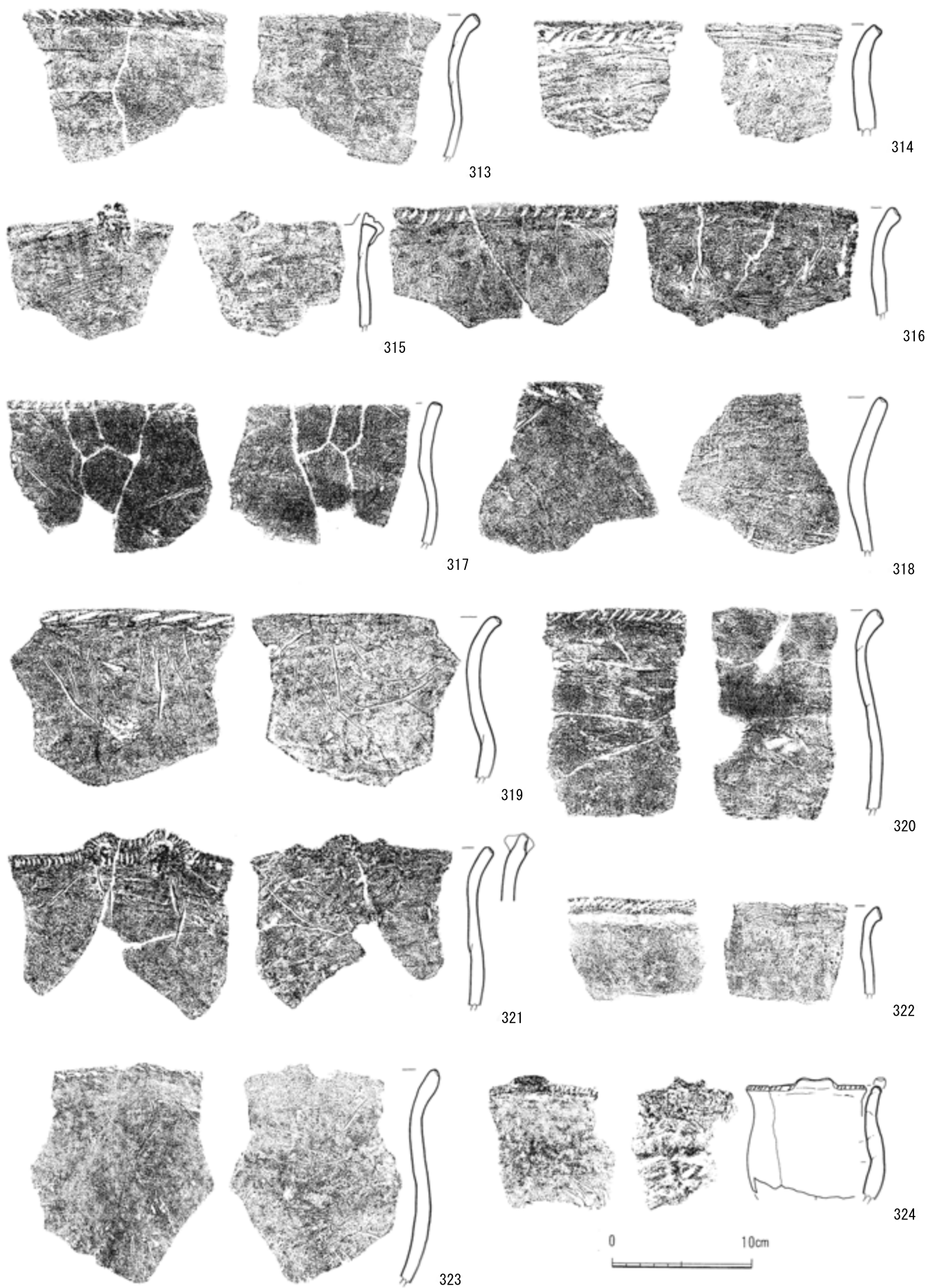


図20 縄文土器 (19)

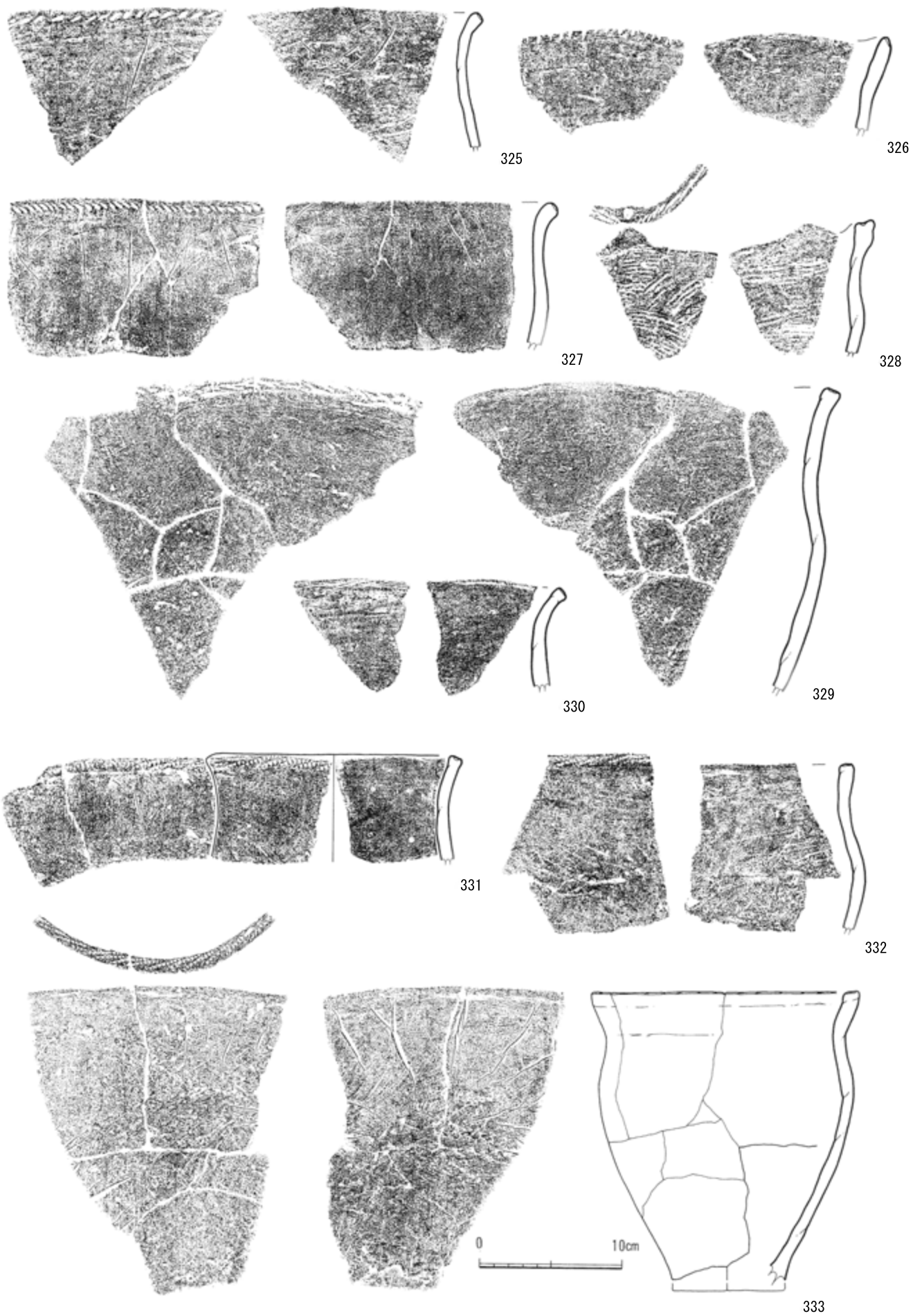


図21 縄文土器 (20)

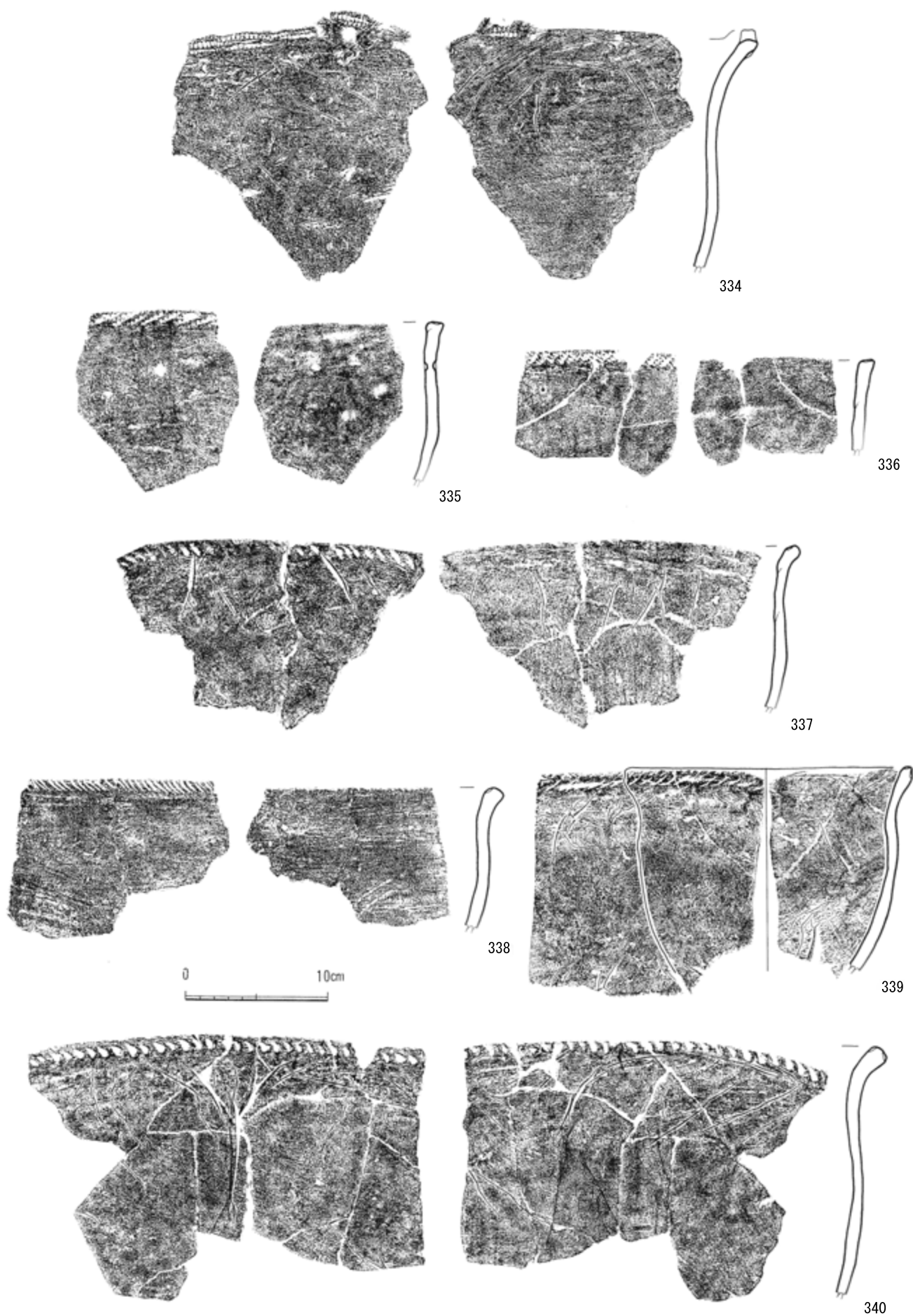


図22 縄文土器 (21)

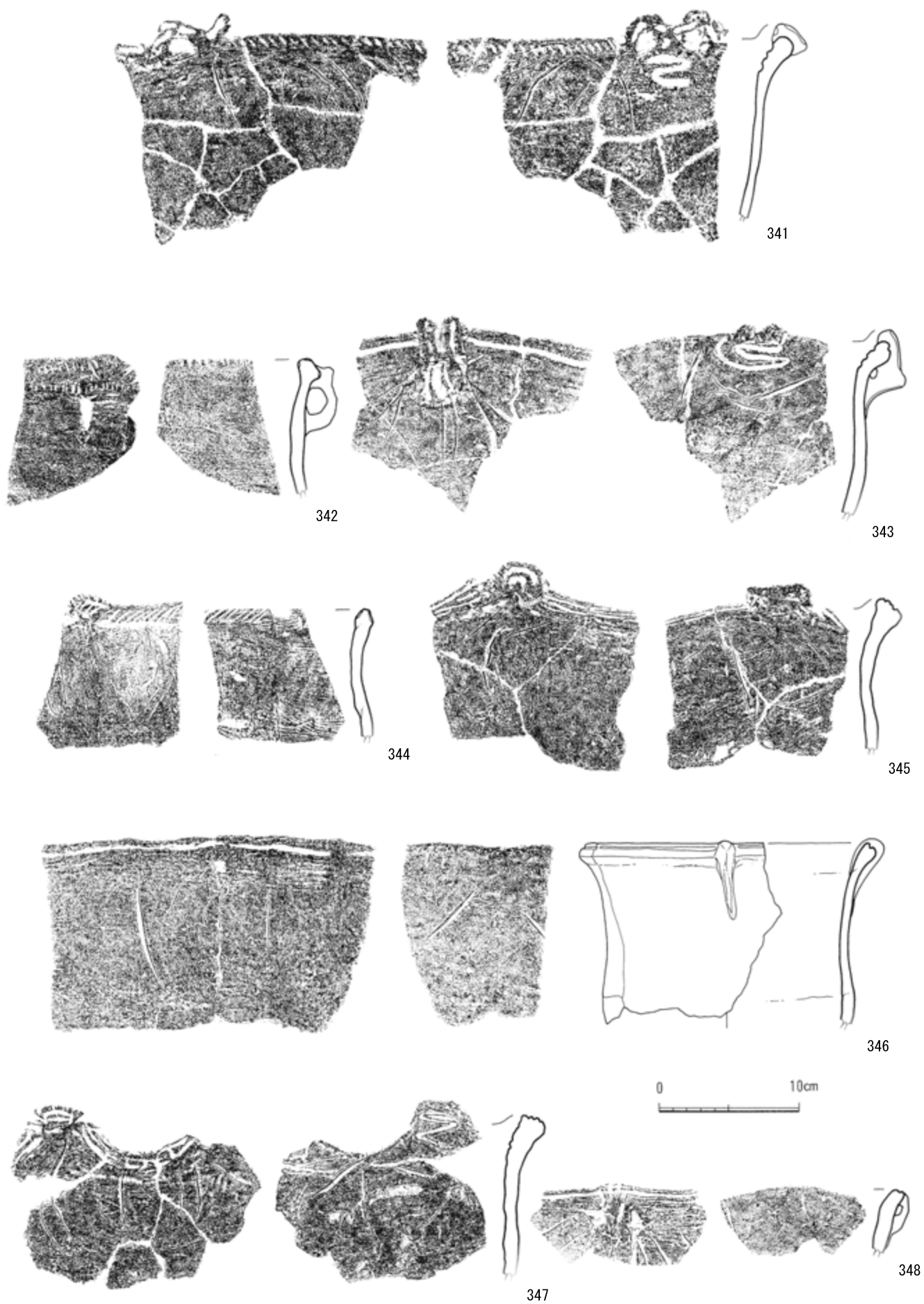


図23 縄文土器 (22)

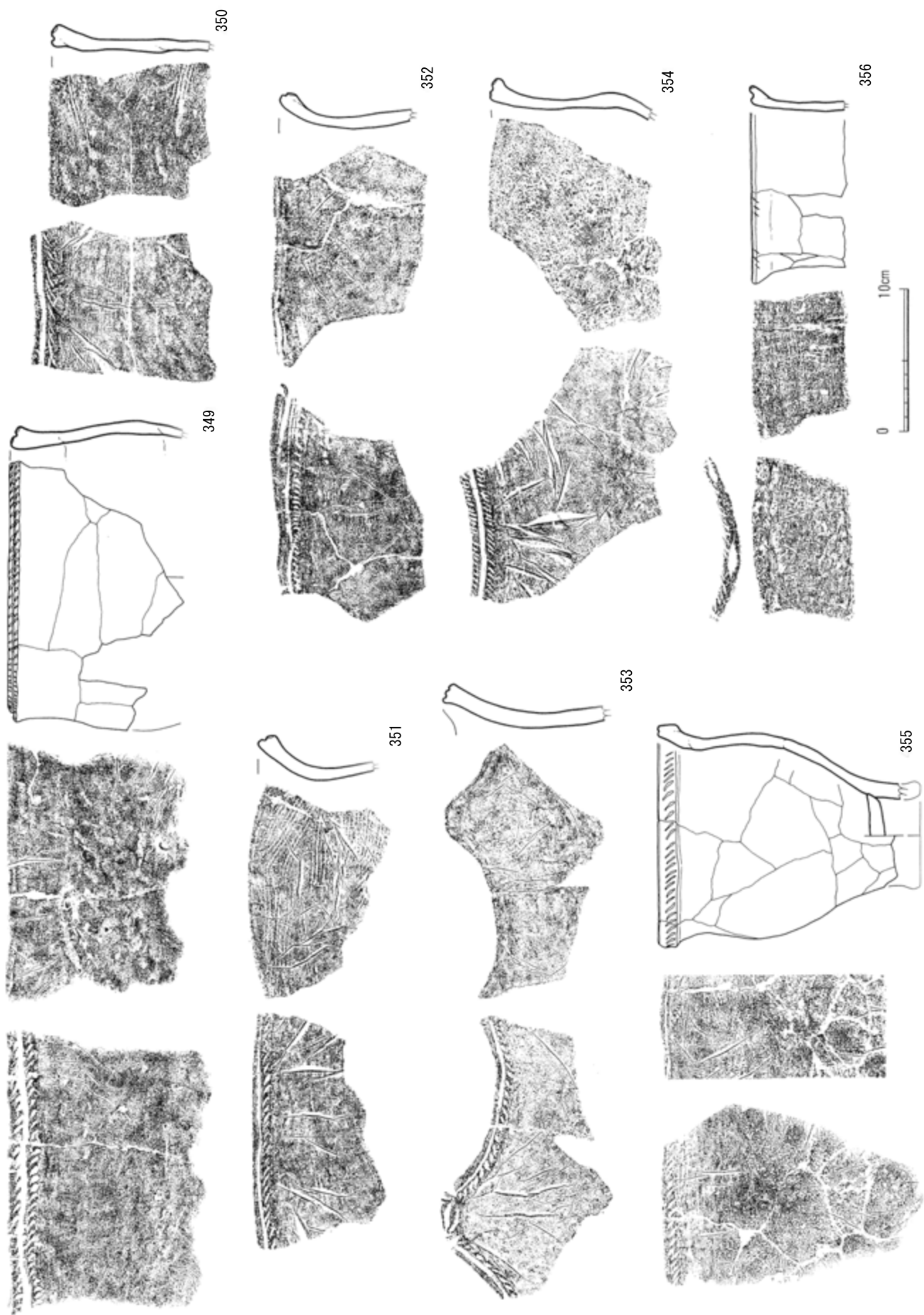


図24 縄文土器 (23)

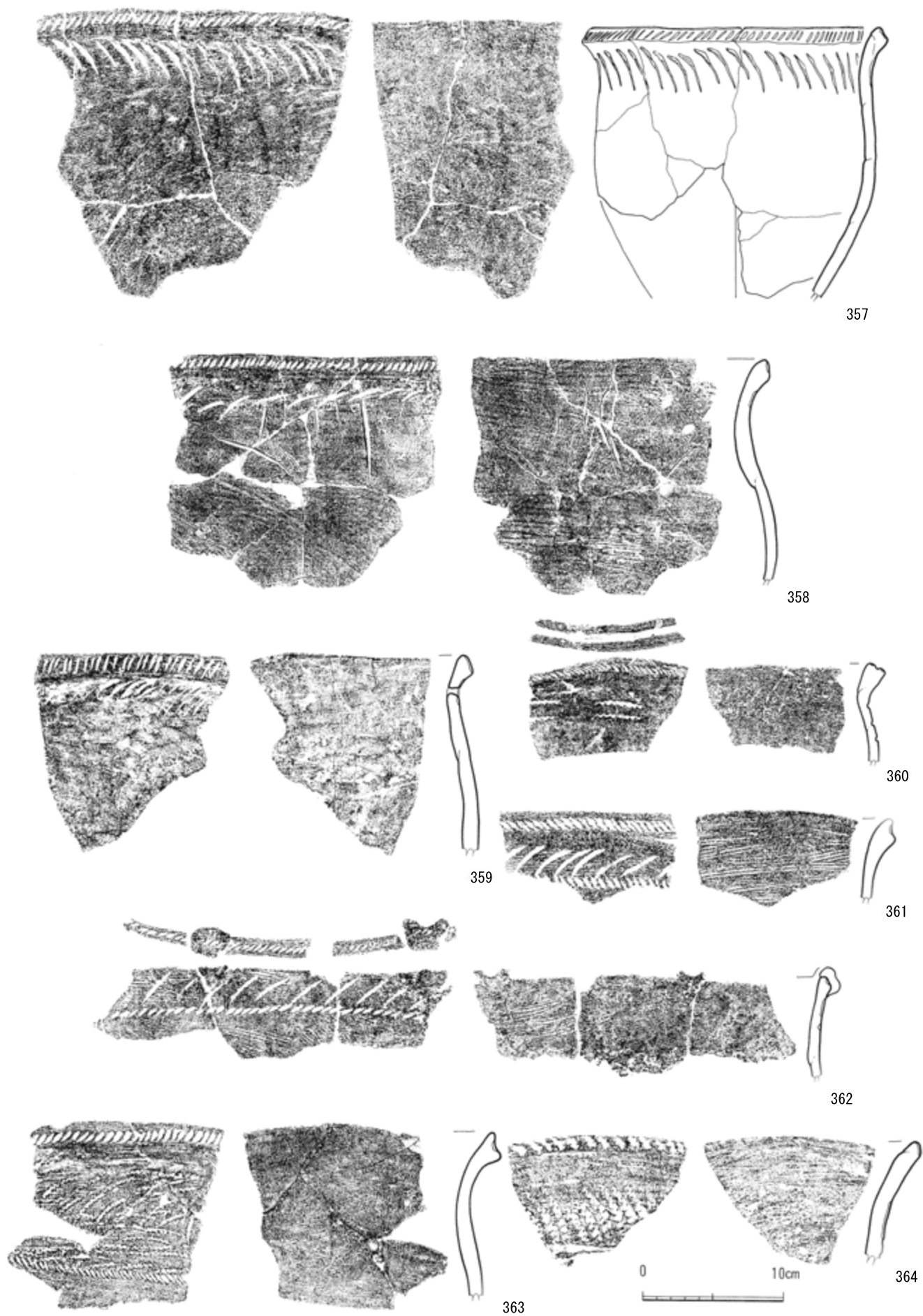
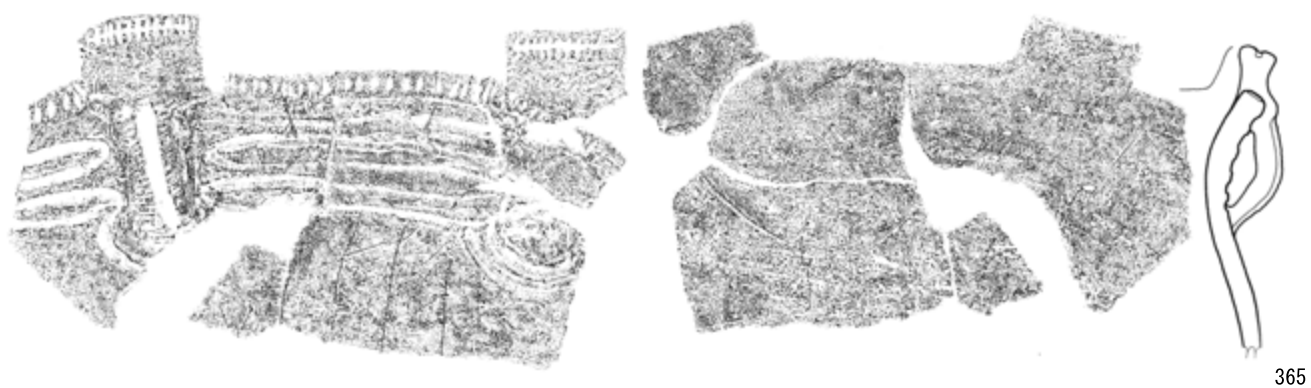
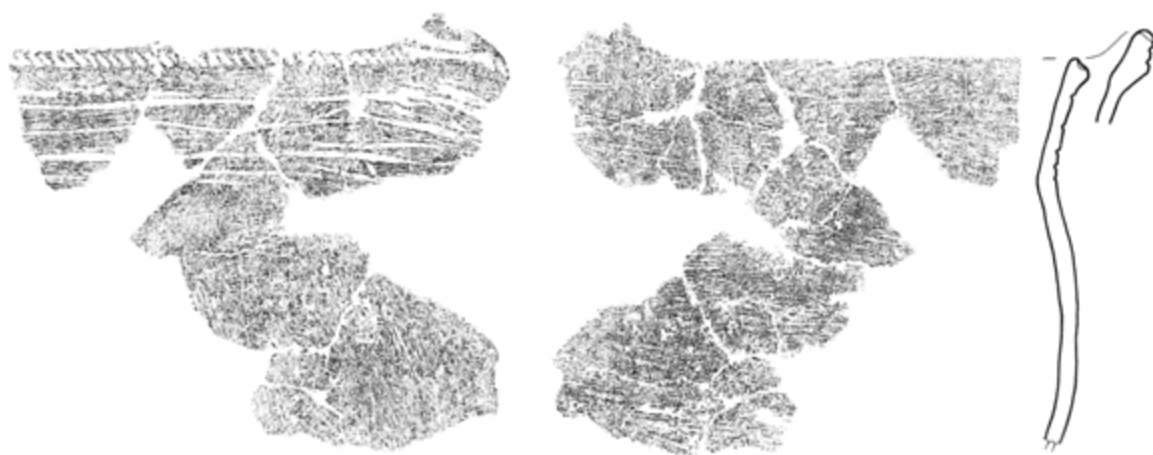


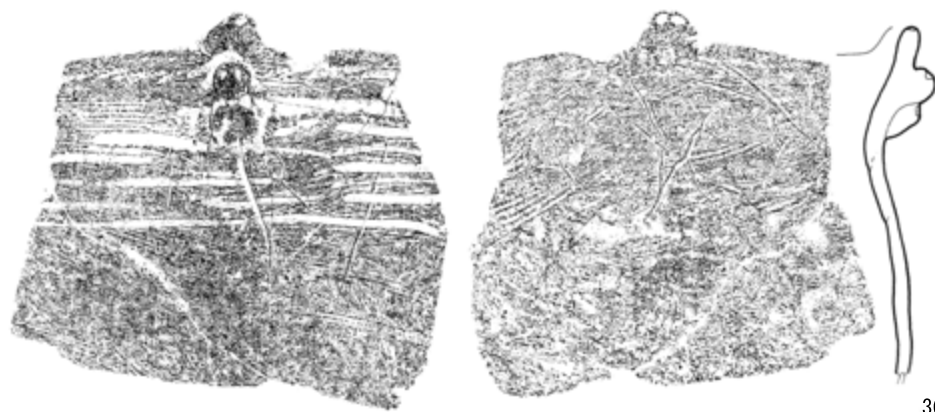
図25 縄文土器 (24)



365



366



367



369

368

図26 縄文土器 (25)

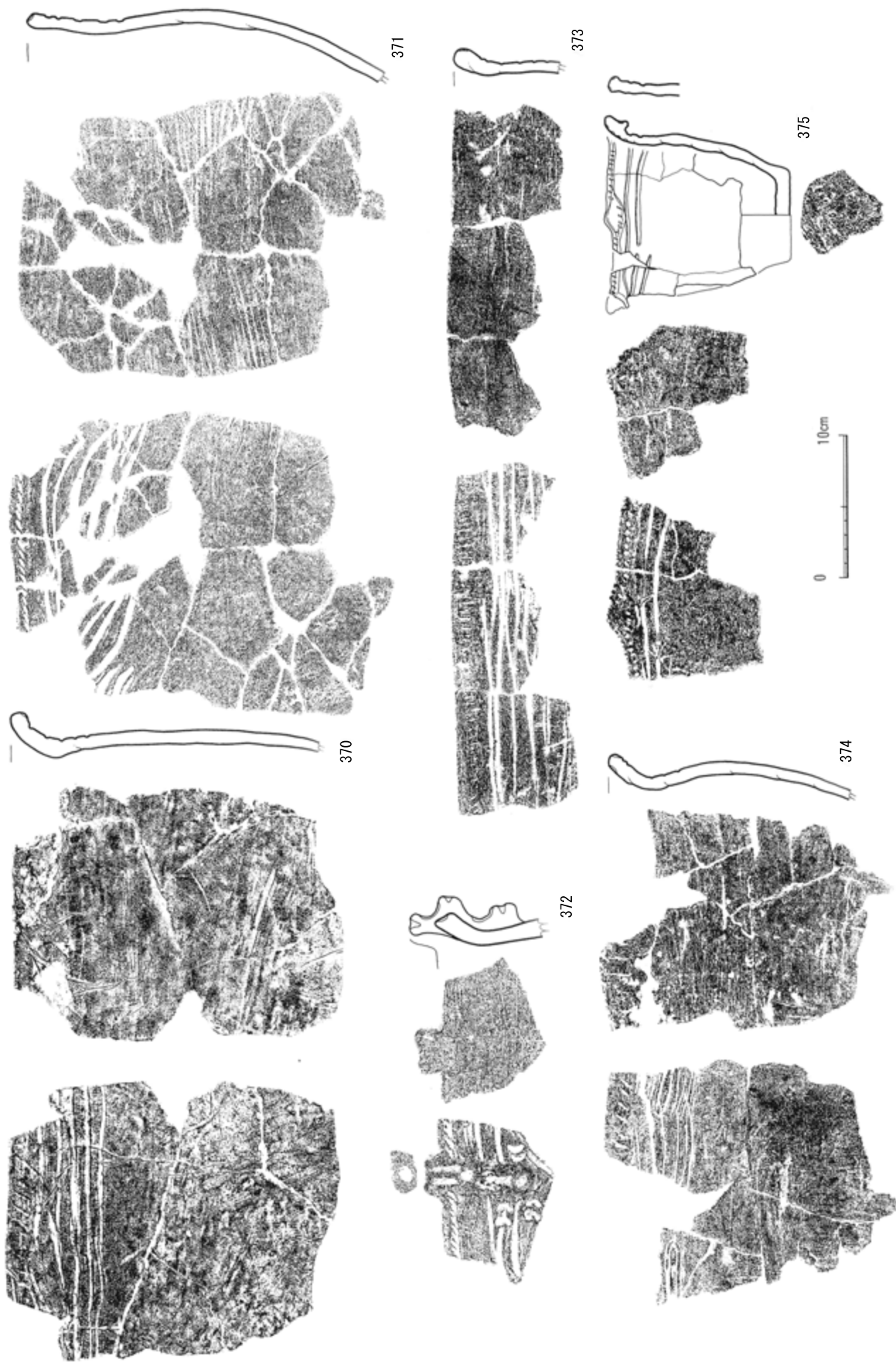


図27 縄文土器 (26)

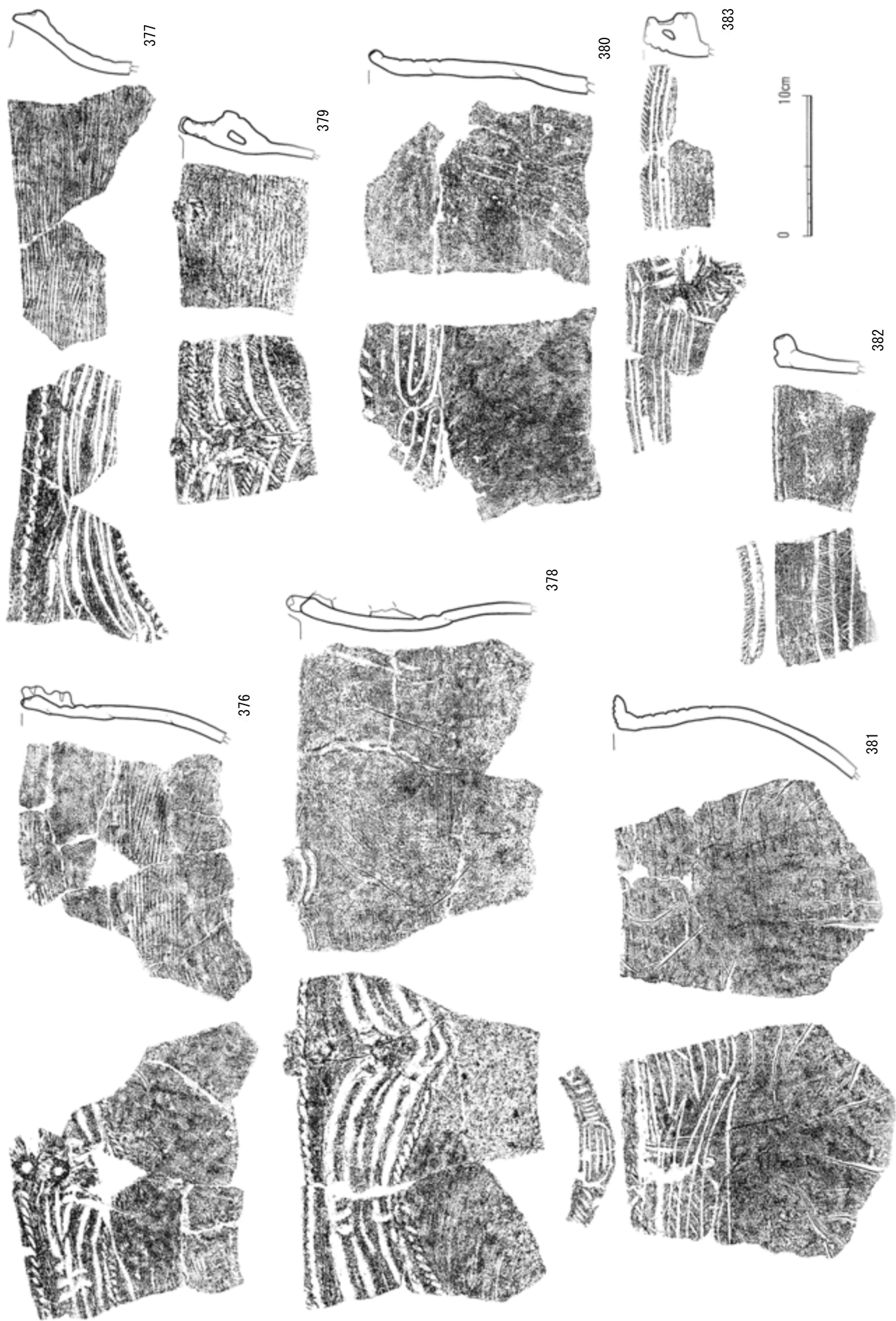


図28 縄文土器 (27)

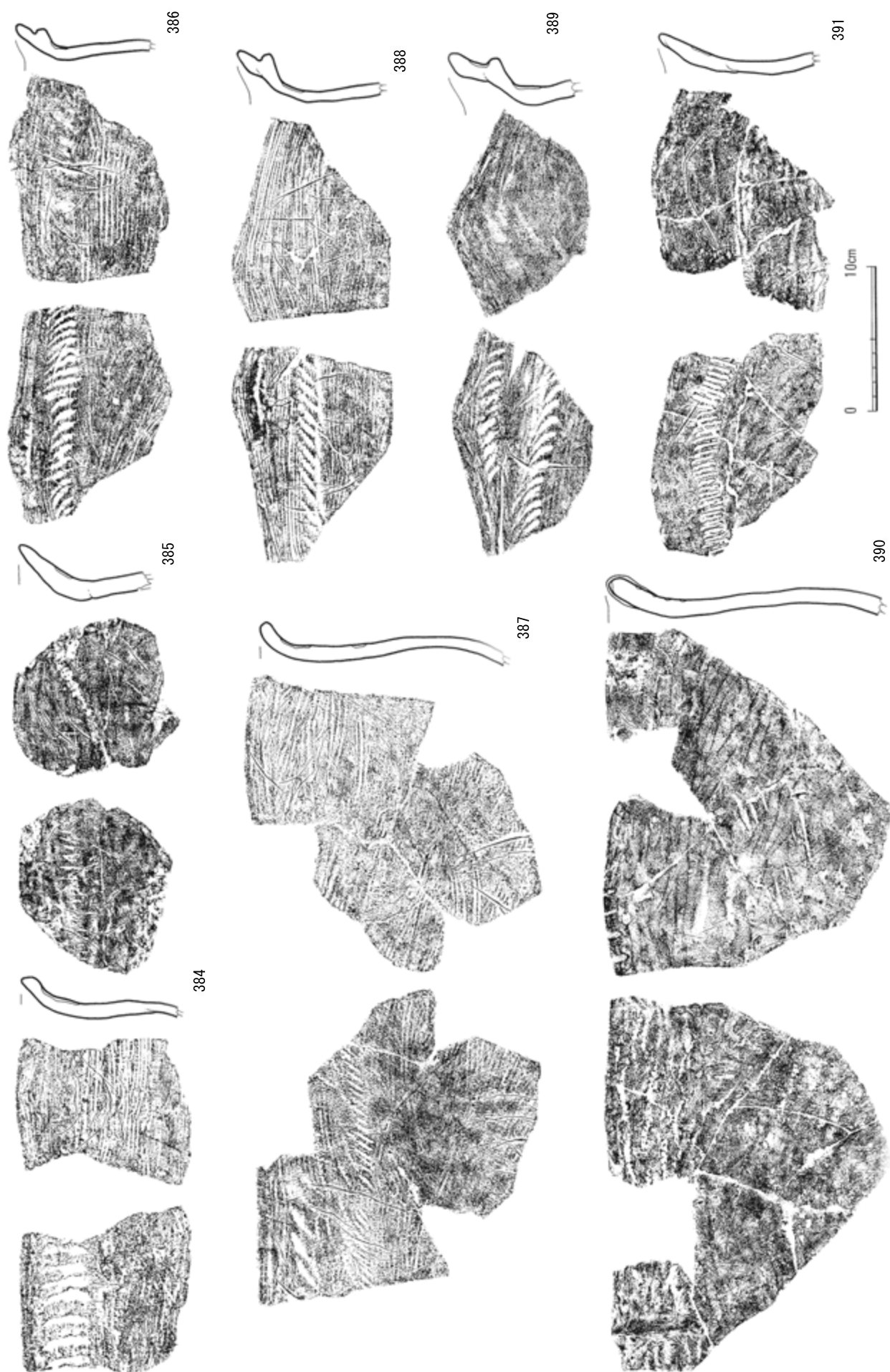


図29 縄文土器 (28)

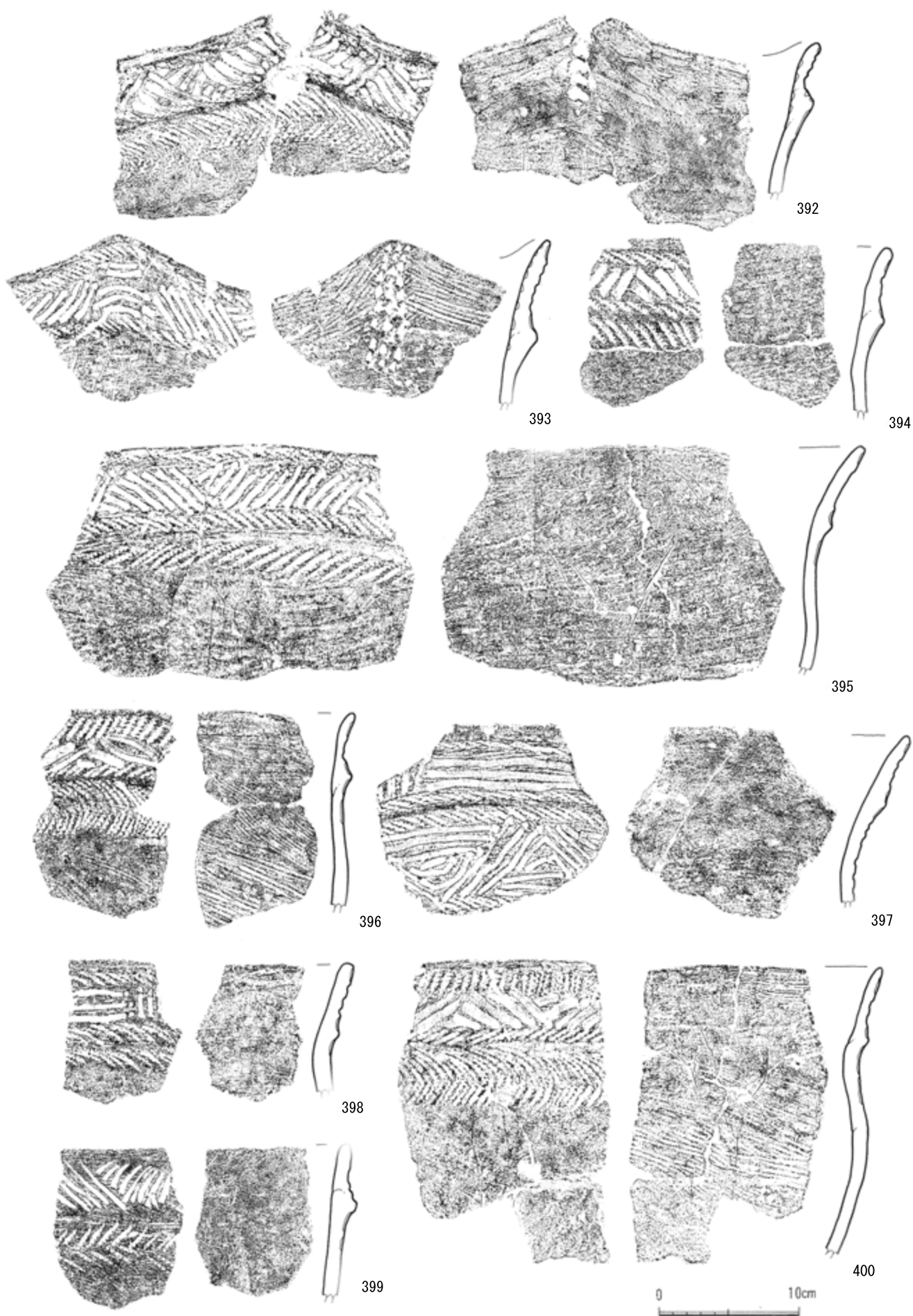


図30 縄文土器 (29)

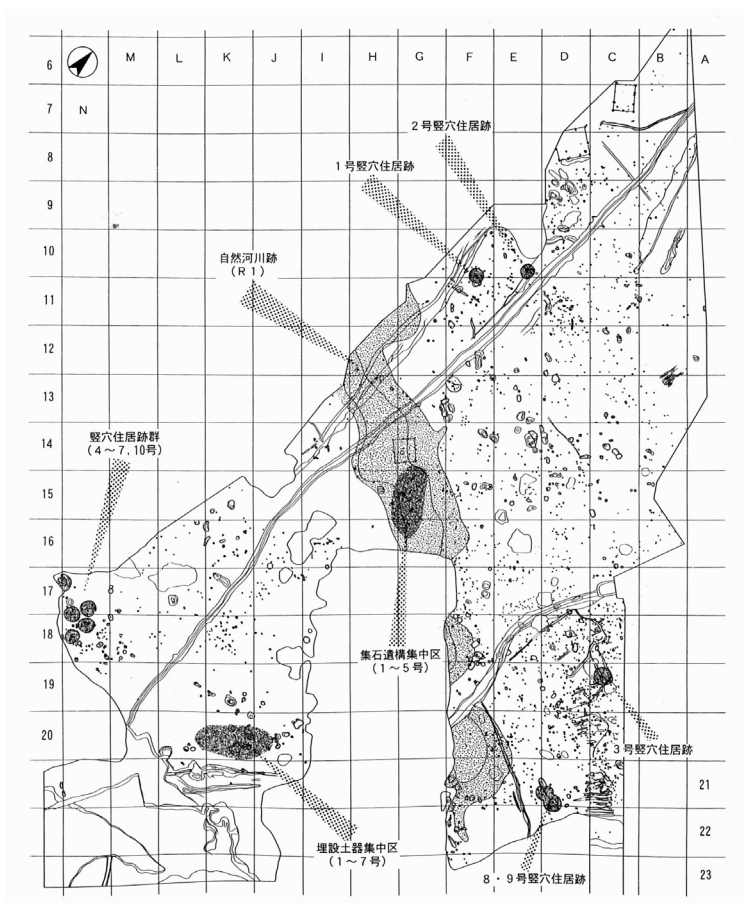


図31 干迫遺跡の遺構配置図（文献1より）
1グリッド：10×10m

市来式土器

	6	O	N	M	L	K	J	I	H	G	F	E	D	C	B	A
6																
7																
8																
9																
10											1	1				
11									15	6						
12									77	21		1				
13							2	339	15	1						
14								149	133		2					
15								26	219	3	1					
16								2	25	13		1				
17		24								1	2		2			
18										25	7	15				
19			2							12	84	10				
20				1						110	38	6				
21	5	2				2				34	12	8				
22	17	87	63	1	76					4		10				
23	18	1	17	2	8				2							
24																

市来式土器：草野タイプ

	6	O	N	M	L	K	J	I	H	G	F	E	D	C	B	A
6																
7																
8																
9																
10																
11									1							
12									9	2						
13								1	37	3						
14										4		1				
15										27						
16										6	1					
17		1														
18											1	1	5			
19												18				
20											10	4	1			
21											2					
22	1	8					8						1			
23	6	1			1	2										
24																

1グリッド：10×10m

図32 型式ごとの出土分布状況（太字数値は実測図掲載点数，網掛けはベスト5）

表 1 出土遺物観察表(1)

採 取 地	番 号	種 類	類別	型式	器種	部位	出土区	層	遺物番号	標高 (m)	色調		状態	石英	長石	角閃	金雲	白粒	茶粒	火G	他	焼 成	備考
											内面	外面											
2	173	縄文土器	III2	市来	深鉢	口縁	21F37R1	37322			黒茶褐色		密	○	○				○			良	
	174	"	"	"	"	"	19E	VII	—		暗茶褐色	明茶褐色	密	○	○					W		良	内：スス付着
	175	"	"	"	"	口～胴	15G31R1	28227			明茶褐色	暗茶褐色	砂多	○	○		◎	◎				普	
	176	"	"	"	"	"	16G1R1	28496			淡茶褐色		密	○	○					W		良	
	177	"	"	"	"	口縁	22O9R2	38435			明茶褐色		密					○		W		良	外：Fe
	178	"	"	"	"	"	20F28R1	43172			淡褐色	淡茶褐色	密	○	○	○	○	○	○			普	外：Mn
	179	"	"	"	"	"	15G9R1	26583			暗茶褐色	淡茶褐色	砂多		○				○			普	内：Fe
	180	"	"	"	"	"	15G49R1	27717			暗茶褐色	明茶褐色	密					○	○			良	内：Mn
	181	"	"	"	"	口～胴	13H	V	22818	12.68	暗褐色	淡黄茶褐色	砂粒		○	○		○	○			普	内：Fe
	182	"	"	"	"	口縁	15GR1	—			明茶褐色		砂多		○	○		○	○			粗	
	183	"	"	"	"	"	16GR1	—			明茶褐色		砂多	○	○	○		○	○			普	
	184	"	"	"	"	"	13HR1	—			明茶褐色		砂多	○		○		○	○			黒粗	
	185	"	"	"	"	"	16F	V	23041	12.94	淡褐色	明茶褐色	砂多	○		○		○	◎		ob?	普	
3	186	"	"	"	"	"	12GR1	—			淡黄茶褐色	明褐色	砂多		○	○	○	○				普	内外：Mn
	187	"	"	"	"	"	13HR1	—			暗茶褐色	暗褐色	砂多		○	○	◎	◎				良	
	188	"	"	"	"	口～胴	20F46R1	40903			黒褐色	暗茶褐色	砂多	○	○	○		○	○			黒粗	
	189	"	"	"	"	口縁	14G49R1	26291			黒褐色	明茶褐色	密		◎	○				W		良	内：Mn・Fe
	190	"	"	"	"	"	14E	VII	41180	13.73	淡褐色		砂多		○	○		○	○			黒普	外：Fe
	191	"	"	"	"	"	15G14R1	28252			明茶褐色		砂多	○	◎			○		W		良	
	192	"	"	"	"	"	15G37R1	27437			淡褐色		砂粒	○	○			○				良	
	193	"	"	"	"	"	14G	V	22295	12.93	明茶褐色	淡茶褐色	密	○	○	○				W		良	内：Fe
	194	"	"	"	"	"	21D80R2	37472			黒褐色	淡黄茶褐色	砂多		○	○			○			普	内外：Fe・Mn
	195	"	"	"	"	口～胴	19E	VII	41672	13.52	淡茶褐色		砂多	○	○	○			○			普	外：Mn
	196	"	"	"	"	口縁	15GR1	—			淡茶褐色	淡褐色	砂粒	○	○		◎	○				黒良	内：Mn
	197	"	"	"	"	"	12HR1	—			明茶褐色		砂多		○	○		○	○			良	
4	198	"	"	"	"	口～胴	12G	V	6374	12.90	明黄茶褐色	明茶褐色	砂多		○	○		○				黒普	外：Fe, №200と同一個体
	199	"	"	"	"	"	16GR1	—			黒茶褐色	暗茶褐色	砂多	○	◎			○				普	外：Fe
	200	"	"	"	"	"	12G	V	6374	12.90	淡茶褐色	明茶褐色	砂多		○	○		○				黒普	外：Fe, №198と同一個体
	201	"	"	"	"	口縁	16G27R1	26012			黒褐色		砂多		○			○	○			普	外：Fe
	202	"	"	"	"	"	16G24R1	26736			明茶褐色		砂粒	○	○			○	◎			黒良	№207と同一個体か？
	203	"	"	"	"	"	16GR1	—			淡黄茶褐色	暗褐色	砂粒	○	○	○		○	○			黒普	
	204	"	"	"	"	"	19E	VII	41167	13.62	明茶褐色	黒褐色	砂多		◎		◎	◎				普	外：Mn
	205	"	"	"	"	"	12H24R1	28034			淡黒褐色	淡茶褐色	砂多	○	○			◎	○			黒普	
	206	"	"	"	"	口～胴	22N36R2	38213			暗茶褐色		砂粒	○	○	○		○				黒普	内：Mn, 外：Fe
	207	"	"	"	"	"	16G22R1	28475			明茶褐色	淡黄茶褐色	砂粒	○	○			○	◎			黒良	№202と同一個体か？
	208	"	"	"	"	口縁	22NR2	—			明茶褐色		砂多	○	○			◎				普	内：Mn, 外：Fe
	209	"	"	"	"	"	12H	V	—		淡黄茶褐色		密	○	○	○		○	○			普	内外：Fe多量
5	210	"	"	"	"	"	15G82R1	27751			淡褐色	淡黒褐色	砂多		○			○				黒普	外：Fe, 一部加工の可有
	211	"	"	"	"	口縁	15G57R1	28201			淡黄茶褐色	淡黒茶褐色	密	○	○	○				W		黒良	
	212	"	"	"	"	口～胴	15G80R1	27745			黒褐色	暗茶褐色	砂多		○	○		◎	○			黒普	内：Mn
	213	"	"	"	"	口縁	21D	VI	39523	13.54	暗黄茶褐色	明茶褐色	砂多	○	○			◎	○			普	内：Mn
	214	"	"	"	"	"	13HR1	—			暗褐色	明茶褐色	砂粒	○	○	○		○	○			黒良	
	215	"	"	"	"	口～胴	13HR2	—			暗褐色		砂多		○		◎	○				良	
	216	"	"	"	"	"	13H24R1	26793			淡褐色	暗褐色	砂多		○	○		○				黒普	内：Fe, 外：Mn
	217	"	"	"	"	口縁	22N56R2	38673			黒褐色		密						○			良	内：Mn, 外：Fe・Mn
	218	"	"	"	"	"	22N67R2	38683			明茶褐色	暗茶褐色	砂多		○		◎	◎				良	外：Mn
	219	"	"	"	"	"	12G93R1	27343			淡黄茶褐色	暗褐色	砂粒	○	◎		○	○				普	内：Mn, 外：Fe
	220	"	"	"	"	"	13H36R1	28605			淡黄茶褐色		砂多	○	○				◎	W		良	外：Mn
6	221	"	"	"	"	"	15GR1	—			明茶褐色	暗茶褐色	砂粒	○	○			○	○	B		黒良	
	222	"	"	"	"	"	13HR1	—			淡褐色	暗褐色	砂粒	○	○	○		○				良	
	223	"	"	"	"	"	13HR1	—			淡茶褐色	暗茶褐色	砂粒	◎	◎			○	○	W		黒良	
	224	"	"	"	"	口～胴	22K	V	34655	11.93	明黄茶褐色		砂多	○	○		○			W		黒普	内外：Fe
	225	"	"	"	"	口縁	unknown	—			暗褐色	明茶褐色	砂粒	○	○			○				黒良	内：Mn, 外：Fe
	226	"	"	"	"	"	14HR1	—			明茶褐色	暗褐色	砂多		○		◎	○		B		黒良	
	227	"	"	"	"	口～胴	22K	V	34735	11.92	暗黄茶褐色	暗褐色	砂多	○	○		○	○				黒良	内外：Fe
	228	"	"	"	"	口縁	18F94R1	33910			明茶褐色		砂多	○	○			○	○			黒良	
	229	"	"	"	"	口～胴	19E	VI	41227	13.61	淡茶褐色	暗茶褐色	砂多		○	○	◎	◎				黒良	外：Mn
	230	"	"	"	"	口縁	13H94R1	20842			淡茶褐色		砂多		○	○	◎	○				良	
	231	"	"	"	"	"	19E	VII	41148	13.69	淡褐色	暗茶褐色	砂多		○		◎	◎				良	外：Fe
	232	"	"	"	"	口～胴	20E	VII	41648	13.50	淡茶褐色		砂多	○	○		◎	◎				黒良	外：Mn・スス付着

表2 出土遺物観察表(2)

埴園	番号	種類	類別	型式	器種	部位	出土区	層	遺物番号	標高(m)	色調		胎土										焼成	備考
											内面	外面	状態	石英	長石	角閃	金雲	白粒	茶粒	火G	他			
7	233	縄文土器	III2	市来	深鉢	口縁	14GR1	—			明茶褐色		砂粒	◎			○		○			黒	良	内外：Mn少量
	234	〃	〃	〃	〃	〃	23O25R2	38731			淡褐色		砂多	○	○	○		○			黒	良	外：Mn	
	235	〃	〃	〃	〃	口～胴	15GR1	—			明茶褐色		砂多	○	○			○	○		黒	普		
	236	〃	〃	〃	〃	口縁	13HR1	—			明茶褐色	黒褐色	砂多	○	○		◎	◎				良	加工の可有	
	237	〃	〃	〃	〃	口～胴	13HR1	—			淡茶褐色	暗茶褐色	密	○	○			○		WB	黒	良	外：スス付着	
8	238	〃	〃	〃	〃	口縁	18E	VI	33551	13.50	暗茶褐色		砂多	○	○		◎	◎				良	内：Fe	
	239	〃	〃	〃	〃	口～胴	21F2R1	37414			明茶褐色	暗茶褐色	砂多	○	○		○	○	○			普	外：Mn・スス付着	
	240	〃	〃	〃	〃	口縁	15G73R1	27741			淡褐色	淡黄茶褐色	砂粒	○	○	○			◎		黒	良	外：Mn・Fe	
	241	〃	〃	〃	〃	口縁	15G7R1	27416			明褐色	暗褐色	砂多		○		◎	◎				良		
	242	〃	〃	〃	〃	〃	15G	V	21894	12.67	明褐色	明茶褐色	砂多	○	○	○	○	○				良		
	243	〃	〃	〃	〃	〃	12G93R1	27343			明褐色	暗茶褐色	砂多	○	○	○		○				良	外：Fe・Mn	
	244	〃	〃	〃	〃	〃	22M暗茶褐色	—			明褐色	淡茶褐色	密	○	○						黒	良	外：Fe	
	245	〃	〃	〃	〃	〃	16G43R1	26391			暗褐色	明茶褐色	密	○	○	○					黒	良		
	246	〃	〃	〃	〃	〃	13H27R1	27904			淡黄茶褐色		密		○	○			○		黒	良		
	247	〃	〃	〃	〃	〃	12H48R1	28696			明茶褐色	暗茶褐色	砂多	○	○			○		WB		普		
248	〃	〃	〃	〃	〃	16G55R1	26134			淡黄茶褐色	暗褐色	砂多	○	○			○	○	W	黒	良	内：赤色顔料？		
9	249	〃	〃	〃	〃	〃	22M暗茶褐色	—			暗茶褐色		密	◎	○	○		○			黒	良	内：Fe, 外：Mn	
	250	〃	〃	〃	〃	〃	15G36R1	28221			明茶褐色	暗茶褐色	砂多		○		◎	○				良		
	251	〃	〃	〃	〃	〃	15G93R1	28163			明茶褐色	暗茶褐色	砂多	◎	○					W		良	外：Mn	
	252	〃	〃	〃	〃	〃	12H	V	18315	12.81	明茶褐色	暗茶褐色	密									普	内外：Fe多（器面が見えない）	
	253	〃	〃	〃	〃	口～胴	15GR1	—	13.47		明茶褐色	淡茶褐色	砂多	◎	○	○	◎	◎				黒	普	
	254	〃	〃	〃	〃	口縁	18E	VI	32651		明茶褐色	暗黒茶褐色	砂多		○		◎	◎	○			普	内：Mn, 外：スス少量付着	
	255	〃	〃	〃	〃	〃	13HR1	—			明淡茶褐色		砂多	○	○	○	◎	◎			黒	良	一部加工の可有	
10	256	〃	〃	〃	〃	〃	13HR1	—			暗茶褐色	暗黄茶褐色	砂多		○			○	○		黒	良		
	257	〃	〃	〃	〃	〃	15GR1	—			淡茶褐色		砂多				◎	◎			黒	良		
	258	〃	〃	〃	〃	〃	23KR2	—			淡茶褐色	明茶褐色	砂多		○		◎	○			黒	良		
	259	〃	〃	〃	〃	〃	13H23R1	26446			淡褐色	明茶褐色	砂多		○	○	◎	◎			黒	普	外：Mn	
	260	〃	〃	〃	〃	口～胴	14GR1	—			淡茶褐色		砂粒		○		◎	◎			黒	良		
	261	〃	〃	〃	〃	口縁	12H60R1	28700			淡茶褐色	暗褐色	砂多	○	○		◎	○			黒	良		
11	262	〃	〃	〃	〃	〃	13HR1	—			淡茶褐色	暗茶褐色	砂多	○	○		◎	○		B	黒	良		
	263	〃	〃	〃	〃	〃	12H24R1	27359			暗茶褐色	明茶褐色	密	○		◎		○			黒	良	内：Mn, 外：スス少量付着	
	264	〃	〃	〃	〃	〃	14GR1	—			明茶褐色		砂多	○	◎		◎	◎			黒	普	一部加工の可有	
	265	〃	〃	〃	〃	〃	16G82R1	28422			明茶褐色	暗褐色	砂多		○		○	◎			良		一部加工の可有	
	266	〃	〃	〃	〃	〃	14HR1	—			黒褐色	淡褐色	砂粒		○		◎	○			黒	良	内：Fe・スス付着	
	267	〃	〃	〃	〃	口～胴	unknown	—			暗茶褐色		砂多		○		◎	◎	◎			普		
	268	〃	〃	〃	〃	口縁	13HR1	—			黒褐色	暗茶褐色	砂多				◎	○				良	内：スス少量付着	
	269	〃	〃	〃	〃	口～胴	20F56R1	38830			淡褐色	淡茶褐色	砂粒	○	○		◎	◎			黒	良		
12	270	〃	III3	〃	〃	完形	20F28R1	43169			黒褐色	明茶褐色	密	○	○	○		○				良		網代底？
	271	〃	〃	〃	〃	完形	20D	VI	40228	13.54	暗茶褐色		砂多	○	○	○		◎				粗	外：Mn	
	272	〃	〃	〃	〃	口～胴	13I3R1	26847			淡褐色		砂多		○			◎	○			普	外：Mn少量	
	273	〃	〃	〃	〃	〃	21F12R1	37252			淡褐色	暗褐色	砂多			○		○			黒	普	外：Mn	
13	274	〃	〃	〃	〃	〃	18D	VI	33021	13.59	淡黄茶褐色	明茶褐色	砂粒		○	◎					黒	普	補修孔有, 外：Fe	
	275	〃	〃	〃	〃	完形	unknown	—			暗茶褐色	明茶褐色	密		○	○				W		良		
	276	〃	〃	〃	〃	口～胴	20F54R1	40939			淡黄茶褐色	淡茶褐色	砂粒		○	○		○		WB	黒	良		
14	277	〃	〃	〃	〃	口縁	13HR1	—			淡黄茶褐色	淡茶褐色	密		○	○				W	黒	良	内外：Mn少量	
	278	〃	〃	〃	〃	口～胴	22N87R2	38698			暗茶褐色		密	○	○	○					黒	普	内外：Fe・Mn	
	279	〃	〃	〃	〃	〃	22N46R2	38658			暗褐色		砂粒	○	○			○			黒	普	外：Mn	
	280	〃	〃	〃	〃	〃	20F56R1	38830			暗茶褐色		砂多	○	○	○		◎			黒	普	外：Mn少量	
	281	〃	〃	〃	〃	〃	12HR1	—			淡茶褐色		砂多	○	○	○		○			黒	良		
15	282	〃	〃	〃	〃	完形	13I5R1	27274			淡褐色		密		○			○				良	外：Mn少量	
	283	〃	〃	〃	〃	口～胴	14G	V	22530	12.98	暗褐色	暗茶褐色	密	○	○	○		○			黒	良	外：Fe	
	284	〃	〃	〃	〃	〃	19E	VII	41438	13.69	淡褐色	暗褐色	密	○	○	◎		○		WB	黒	普	外：Mn	
	285	〃	〃	〃	〃	口～胴	22K74R2	38603			明茶褐色	暗茶褐色	密	○	○			○		W		良	内：Mn少量, 外：Mn	
16	286	〃	〃	〃	〃	〃	19E	VII	41750	13.38	淡黄茶褐色	暗茶褐色	砂粒	○	○	○		○			黒	普	外：Mn少量	
	287	〃	〃	〃	〃	〃	13H25R1	26792			淡灰褐色		砂多		○	○		◎	○		黒	普	外：Mn・スス付着	
	288	〃	〃	〃	〃	〃	18D	VI	33052	13.51	淡黄茶褐色	淡明茶褐色	密	○	○	○		○		W	黒	良	内：Mn	
	289	〃	〃	〃	〃	〃	16F91R1	26713			淡褐色	暗茶褐色	砂粒	○	○	○		○	○			良		
	290	〃	〃	〃	〃	〃	18D	VI	32919	13.59	黒茶褐色	明茶褐色	砂多		○			○	○			良	内：Fe少量	
17	291	〃	III4	草野	〃	〃	22K48R2	38579			暗茶褐色		密	○	○					WB		良	内：Mn	
	292	〃	〃	〃	〃	〃	20F9R1	43132			暗茶褐色	淡茶褐色	砂多		○	○	○	○			黒	良		
	293	〃	〃	〃	〃	〃	19E	VII	41360	13.59	淡褐色	暗褐色	密	○				○			黒	良	内：Mn	

表3 出土遺物観察表(3)

採 取 地	番 号	種 類	類 別	型 式	器 種	部 位	出 土 区	層	遺物番号	標高 (m)	色調		胎土										焼 成	備 考
											内面	外面	状態	石英	長石	角閃	金雲	白粒	茶粒	火G	他			
17	294	縄文土器	III4	草野	深鉢	口～脚	15G86R1	28171			淡茶褐色		密	○	○		○					黒	良	外：Mn
	295	〃	〃	〃	〃	〃	18D	VI	32948	13.56	黒褐色	暗茶褐色	砂粒		○			○				良	外：Mn・Fe，内：Fe少量	
	296	〃	〃	〃	〃	〃	13H7R1	27887			淡茶褐色	明茶褐色	砂粒	○	○	○	◎	○				普	外：Mn少量	
	297	〃	〃	〃	〃	〃	22N57R2	38672			黒褐色	明茶褐色	密	○	○							黒	良	外：Mn多量，口縁近赤顔料
		〃	〃	〃	〃	〃	22N67R2	38683			黒褐色	明茶褐色	密	○	○							黒	良	外：Mn多量，口縁近赤顔料
18	298	〃	〃	〃	〃	完形	19E	VII	41445	13.62	暗茶褐色	明茶褐色	砂多		○	○		◎				黒	普	外：Mn少量
	299	〃	〃	〃	〃	口～胴	22KR2	—			淡茶褐色		密	○	○	○						黒	普	内外：Mn
	300	〃	〃	〃	〃	〃	15G35R1	28222			淡褐色	淡茶褐色	砂多		○	○		○	○			黒	普	外：Mn
	301	〃	〃	〃	〃	〃	13H5R1	27889			淡黄褐色	黒茶褐色	砂多			○		○	○			黒	良	外：Mn
	302	〃	〃	〃	〃	〃	16G66R1	28435			明褐色	暗褐色	砂多	○		○		○				良		松山式の可有
	303	〃	〃	〃	〃	〃	19E	VI	41276	13.51	明黄茶褐色		密		○	○						黒	良	内：Mn，外：貝庄?，赤顔料?
	304	〃	〃	〃	〃	〃	15G67R1	26967			暗褐色	淡褐色	密	○	○	○				W	黒	良	内外：Fe	
	305	〃	〃	〃	〃	口縁	unknown	—			明黄茶褐色		密			○	○	○				良	内：Fe	
19	306	〃	〃	〃	〃	口～胴	17N	谷	—		黒褐色	淡茶褐色	砂多		○				◎			黒	普	内：Fe
	307	〃	〃	〃	〃	〃	unknown	—			淡褐色		密	○	○							黒	良	岩崎上層式の可有，浅沈線?
	308	〃	〃	〃	〃	完形	13HR1	—			明茶褐色	淡茶褐色	砂多		○	○		○	○			黒	良	
	309	〃	〃	〃	〃	口～胴	19E	VII	41687	13.50	淡茶褐色	暗茶褐色	密	○	○							黒	良	外：Fe
	310	〃	〃	〃	〃	口縁	20F39R1	43196			淡褐色		密		○	○	○					黒	良	
	311	〃	〃	〃	〃	口～胴	13HR1	—			明茶褐色	暗茶褐色	密	○	○			○				黒	良	
	312	〃	〃	〃	〃	〃	15G44R1	27720			黒褐色		砂粒	○	○	○	○	○				良	外：Mn少量	
	313	〃	〃	〃	〃	〃	23KR2	38797			黒褐色	黒茶褐色	砂多	○	○	○				W		良		
20	314	〃	〃	〃	〃	口縁	23L黒褐色落込	—			淡黄茶褐色		砂粒	○		◎	○					黒	良	
	315	〃	〃	〃	〃	〃	23O22R2	38456			黒褐色	暗黄茶褐色	密	○				○		W		良	内外：Fe	
	316	〃	〃	〃	〃	〃	14G35R1	26342			淡褐色	暗茶褐色	砂粒	○	○	○			○			黒	普	外：Fe
	317	〃	〃	〃	〃	口～胴	16G44R1	26122			暗茶褐色		砂粒	○	○			○		WB	黒	良	外：Mn	
	318	〃	〃	〃	〃	〃	21F13R1	37256			暗茶褐色	黒褐色	砂粒	○	○			○		WB	黒	良	内：Mn，外：スス少量付着	
	319	〃	〃	〃	〃	〃	12GR1	—			明茶褐色	暗茶褐色	密	○	○	○				WB	黒	良		
	320	〃	〃	〃	〃	〃	13H29R1	29597			淡褐色		密		○	◎		○				黒	良	
	321	〃	〃	〃	〃	〃	13HR1	—			淡茶褐色	暗褐色	密	○	○		○	○		WB	黒	良	内外：Mn	
	322	〃	〃	〃	〃	口縁	19E	VII	41630	13.52	黒褐色	淡褐色	密	○	○					WB	黒	良	内：スス少量付着，外：Mn	
	323	〃	〃	〃	〃	口～胴	20F56R1	38930			黒茶褐色	淡茶褐色	密	○	○	○		◎		WB	黒	良	内：スス少量付着，外：Mn	
	324	〃	〃	〃	〃	〃	15G93R1	27438			淡茶褐色		砂多		○			○				良	内外：Mn	
	21	325	〃	〃	〃	〃	口縁	15G64R1	28189			明茶褐色	暗茶褐色	密	○	○	○		◎	○	WB	黒	良	外：Mn
326		〃	〃	〃	〃	〃	23N98?R2	38715			淡褐色	淡茶褐色	砂粒		○	○		○				良	内：Fe，外：Mn	
327		〃	〃	〃	〃	口～胴	12HR1	—			暗茶褐色	明茶褐色	密		○	○				WB多	黒	良	内：スス付着，外：Mn	
328		〃	〃	〃	〃	〃	23KR2	—			明茶褐色		砂粒	○	○	○	◎					黒	良	
329		〃	〃	〃	〃	〃	18D	VI	32947	13.60	暗茶褐色		砂粒	○	○			○		WB多	普	内：Fe・Mn		
330		〃	〃	〃	〃	口縁	12HR1	—			淡褐色	暗褐色	密	○	○			○		WB多	黒	良	内：Mn少量	
331		〃	〃	〃	〃	〃	22N48R2	38663			暗黄茶褐色	暗茶褐色	密	○	○	○						黒	良	内：Mn，外：Fe少量
332		〃	〃	〃	〃	口～胴	13H67R1	27953			淡褐色	明茶褐色	密	○		○			○	WB多	良	外：Mn		
333	〃	〃	〃	〃	口～底	15G21R1	27704			淡黄褐色		密	○	○	○		○		WB	黒	良	内：Mn		
22	334	〃	〃	〃	〃	口～胴	R1	—			淡褐色	暗茶褐色	砂粒	○	○			○		WB多	良			
	335	〃	〃	〃	〃	〃	11HR1	—			淡褐色	淡茶褐色	密	○						WB多	黒	良		
	336	〃	〃	〃	〃	口縁	13H37R1	28604			暗褐色	明茶褐色	密			○				WB	良			
	337	〃	〃	〃	〃	口～胴	13H7R1	27887			黒褐色		砂多	○	○	○		○		WB	普	内：スス多量付着		
	338	〃	〃	〃	〃	〃	13H35R1	27917			淡褐色	淡茶褐色	密	○	○	○	○	○		WB	良	内：Fe少量，外：Mn		
	339	〃	〃	〃	〃	〃	20FR1	—			明茶褐色	暗茶褐色	砂粒	○	○					WB多	普	外：Fe・スス少量付着		
	340	〃	〃	〃	〃	〃	23O1R1	38716			暗茶褐色		砂粒		○					WB多	普	内：Mn		
23	341	〃	〃	〃	〃	〃	22K75R2	38602			暗茶褐色		砂多	○	○			○		WB多	普	内：Mn		
	342	〃	〃	〃	〃	口縁	13HR1	—			明茶褐色	暗茶褐色	砂粒	○				○		WB多	良			
	343	〃	〃	〃	〃	口～胴	15G54R1	28204			淡黄茶褐色	暗褐色	砂多	○		○		○			黒	良	外：スス付着	
	344	〃	〃	〃	〃	〃	13H41R1	27205			淡黄茶褐色	淡明茶褐色	密	○				○	◎	WB多	良	内：Mn		
	345	〃	〃	〃	〃	〃	18D	VI	33648	13.49	黒褐色	淡茶褐色	砂多	○	○			○		WB	良	外：Mn		
	346	〃	〃	〃	〃	〃	20E	VII	43278	13.38	黒褐色	暗茶褐色	砂粒	○	○			○	○			良	内：Mn	
	347	〃	〃	〃	〃	〃	13H73R1	27230			黒褐色	淡茶褐色	密	○	○			○			黒	良	内：スス付着	
	348	〃	〃	〃	〃	口縁	13HR1	—			明茶褐色		砂多	○				○	○		黒	良	内外：Mn少量	
24	349	〃	〃	〃	〃	口～胴	15G51R1	27049			淡茶褐色	明茶褐色	砂粒	○	○		○					良	外：Mn・Fe少量	
	350	〃	〃	〃	〃	〃	19E	VII	41968	13.58	暗褐色	淡黄茶褐色	密			○				WB	良	内：Mn・Fe，外：Mn		
	351	〃	〃	〃	〃	口縁	unknown	—			黒褐色	明茶褐色	密	○	○							良	外：Fe	
	352	〃	〃	〃	〃	〃	18E	VI	32309	13.65	明黄茶褐色	淡茶褐色	密	○	○	○				WB	良	内：Mn，口縁内部赤色顔料?		
	353	〃	〃	〃	〃	〃	20E落ち込み	—			黒茶褐色	明茶褐色	砂多	○				○		WB多	良	内：スス少量付着，外：Mn		

表4 出土遺物観察表(4)

採掘場	番	種類	類別	型式	器種	部位	出土区	層	遺物番号	標高 (m)	色調		状態	石英	長石	胎土					火G	他	焼成	備考
											内面	外面				角閃	金雲	白粒	茶粒					
24	354	縄文土器	III4	草野	深鉢	口～胴	22K55R2		38138		黒茶褐色		密								WB多		良	内：Fe，外：Mn
	355	〃	〃	〃	〃	口～脚	15GR1		—		淡褐色	明茶褐色	密	○	○	○			○				良	与市来式
	356	〃	〃	〃	〃	口～胴	19E	VII	41352	13.56	淡褐色	明茶褐色	密	○	○	○							良	内外：Mn
25	357	〃	〃	〃	〃	〃	13HR1		—		暗茶褐色	明茶褐色	砂多	○	○				○	○		黒	良	外：スス少量付着
	358	〃	〃	〃	〃	〃	23O11R2		38718		明茶褐色	暗茶褐色	砂多				◎	◎					良	外：スス付着
	359	〃	〃	〃	〃	〃	13H22R1		26795		明灰茶褐色	明茶褐色	砂多	○					○			黒	良	補修孔有，外：Mn少量
	360	〃	〃	〃	〃	口縁	14G	V	22404	12.86	灰茶褐色	暗茶褐色	砂多		○	○			○		WB		普	外：Fe
		〃	〃	〃	〃	口縁	14G44R1		26673		灰茶褐色	暗茶褐色	砂多			○	○		○		WB		普	外：Fe
	361	〃	〃	〃	〃	〃	13HR1		—		暗茶褐色		砂多	○	○				○		WB多		普	
	362	〃	〃	〃	〃	〃	15G52R1		28206		黒褐色	明茶褐色	砂多				◎		○				良	内：スス付着，外：Mn
		〃	〃	〃	〃	〃	18F92R1		33260		黒褐色	明茶褐色	砂多				◎		○				良	内：スス付着，外：Mn
	363	〃	〃	〃	〃	口～胴	13HR1		—		明茶褐色		砂多	○	○	○			○			黒	普	
	364	〃	〃	〃	〃	口縁	12H80R1		27997		明茶褐色		砂多	○	○			○	○	○			良	
26	365	〃	〃	〃	〃	口～胴	15G94R1		28245		明茶褐色		砂粒	○	○				○		WB多	黒	良	内：Mn
26	366	〃	〃	〃	〃	〃	22O20R2		38712		暗茶褐色	暗黒茶褐色	砂多		○			○	◎	○			粗	外：Fe・Mn
	367	〃	〃	〃	〃	〃	15GR1		—		淡茶褐色	暗茶褐色	砂多					◎	○			黒	普	
	368	〃	〃	〃	〃	〃	13HR1		—		明茶褐色	淡褐色	砂多	○	○			◎	○				良	
	369	〃	〃	〃	〃	口縁	19E	VII	41599	13.48	黒茶褐色	暗茶褐色	砂多	○				○	○			黒	良	外：Mn
	370	〃	〃	〃	〃	口～胴	15G51R1		27461		黒褐色	暗茶褐色	砂粒	○	○	○	○						粗	外：Mn
27	371	〃	〃	〃	〃	〃	19E	VII	—		明茶褐色	暗茶褐色	砂多		○			◎	◎				普	
	372	〃	〃	〃	〃	口縁	22KR2		—		明茶褐色	黒褐色	砂多	○	○	○					WB	黒	良	内：Fe，外：Mn
		〃	〃	〃	〃	口縁	19E	VII	—		明茶褐色	黒褐色	砂多	○	○	○					WB	黒	良	内：Fe，外：Mn
	373	〃	〃	〃	〃	口縁	20D	VI	40280	13.57	淡茶褐色	暗茶褐色	砂多	○	○	○			○	○		黒	良	内：Fe・Mn
	374	〃	〃	〃	〃	口～胴	19E	VII	41359	13.58	黒褐色		砂多	○			○	○	○	○			普	内：Fe，外：Fe・Mn
	375	〃	〃	〃	〃	完形	13H59R1		27046		黒褐色	淡茶褐色	密	○	○								普	外：Mn少量
	376	〃	〃	〃	〃	口～胴	13GR1		—		淡茶褐色	淡明茶褐色	砂粒	○	○	○			○		WB		普	内：Mn
28	377	〃	〃	〃	〃	口縁	22N77R2		38296		明茶褐色	暗茶褐色	砂多	○	○	○			○			黒	良	内：Fe，外：Fe・Mn，与市来式
	378	〃	〃	〃	〃	口～胴	16GR1		—		暗黄茶褐色	暗茶褐色	砂多	◎	◎				◎				粗	
		〃	〃	〃	〃	口～胴	16FR1		—		暗黄茶褐色	暗茶褐色	砂多	◎	◎				◎				粗	
	379	〃	〃	〃	〃	口縁	16G81R1		28423		暗茶褐色	明黄茶褐色	砂多	◎	○			○	○				普	内：スス付着
	380	〃	〃	〃	〃	口～胴	12G	V	6442	12.89	淡茶褐色	暗茶褐色	砂多			○			○	○		黒	良	外：Fe・Mn
	381	〃	〃	〃	〃	〃	13HR1		—		黒褐色	暗茶褐色	砂粒	○	○	○			○				良	外：Fe少量，与鐘崎式
	382	〃	〃	〃	〃	口縁	15G26R1		28233		明茶褐色		密	○	○				○		WB		良	
	383	〃	〃	〃	〃	〃	20F	排土	—		淡褐色		密	○	○				○		WB		普	
29	384	〃	〃	〃	〃	口～胴	13HR1		—		明茶褐色	暗茶褐色	砂多		○			◎	◎				良	内：Mn少量
	385	〃	〃	〃	〃	口縁	16G26R1		26108		暗茶褐色	淡黄茶褐色	砂多		○	○						黒	普	加工の可有，内：Mn少量
	386	〃	〃	〃	〃	〃	15GR1		—		暗茶褐色		砂粒	○	○	○			○		WB		良	
	387	〃	〃	〃	〃	口～胴	13HR1		—		明茶褐色		砂多	○	○				◎	◎		黒	普	
	388	〃	〃	〃	〃	〃	22N48R2		38663		明茶褐色	黒茶褐色	密	○	○	○						黒	良	内：Mn，外：Mn・Fe・スス付着
	389	〃	〃	〃	〃	〃	12HR1		—		明茶褐色	黒茶褐色	砂多	○	○			○	◎				良	
	390	〃	〃	〃	〃	口～胴	12HR1		—		淡黄茶褐色	淡褐色	砂粒	○	○	○				○			良	内：Mn少量
	391	〃	〃	〃	〃	口縁	12H67R1		26879		淡黒茶褐色	淡茶褐色	砂粒	○		○	○		○				普	内外：Mn少量
30	392	〃	〃	III5	丸尾	〃	22N58R2		38236		暗茶褐色	暗褐色	砂多	○	○			◎	◎				良	内：Mn，外：Fe少量
	393	〃	〃	〃	〃	〃	19E	VI	41423	13.62	明茶褐色	暗茶褐色	砂多			◎			◎				良	内：Mn
	394	〃	〃	〃	〃	〃	12H67R1		27297		淡褐色	明茶褐色	砂多	○	○			◎	◎				良	
	395	〃	〃	〃	〃	口～胴	21F13R1		37253		淡茶褐色	明茶褐色	砂多	○	○			◎	◎	○		黒	良	外：Mn少量
	396	〃	〃	〃	〃	〃	20F65R1		38852		淡茶褐色	黒茶褐色	砂多	○	○	○		◎	◎				良	内：Mn少量
	397	〃	〃	〃	〃	口縁	20FR1		—		淡茶褐色	暗茶褐色	砂多	○	○			◎	◎				良	加工の可有，内：Mn少量
	398	〃	〃	〃	〃	〃	21E94R1		35579		淡褐色	淡茶褐色	砂多	○	○	○	○	◎	◎			黒	良	内外：Fe少量
	399	〃	〃	〃	〃	〃	15G7R1		26906		淡褐色	暗茶褐色	砂多	○	○	○		◎	◎			黒	良	加工の可有，内：Mn少量，外：Fe・スス
	400	〃	〃	〃	〃	口～胴	20F74R1		38897		明茶褐色	暗茶褐色	砂多	○	○	○		◎	◎			黒	良	

【表凡例】

- 1 遺物番号は，文献3からの継続番号である。
- 2 類別は，文献1による分類を踏襲したものである。
- 3 胎土状態の「砂粒」は鉱物以外の内容を指し，「砂多」は砂粒が比較的量が多いこと，「密」は粘土の粒が細かく緻密な状態を示している。
- 4 胎土の「○」は含有状況を指し，「◎」は比較的量が多いことを示している。
- 5 胎土の「火G」は「火山ガラス」を指し，「W」は白色透明系，「B」は黒色系のことである。
- 6 胎土他の「黒」は黒色の粒子を指している。

鹿児島県立埋蔵文化財センター

研究紀要・年報 **縄文の森から** 第18号

発行年月 **2025年10月**

編集・発行 鹿児島県立埋蔵文化財センター

〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森2番1号

TEL 0995-48-5811

E-mail maibun@jomon-no-mori.jp

URL <https://www.jomon-no-mori.jp>

印刷 有限会社 国分新生社印刷

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久627-1

Bulletion of Kagoshima
Prefectural Archaeological Center

From JOMON NO MORI

No. 18 CONTENTS

Introduction of excavated materials at the Hoshizako site,
Kajiki-cho, Aira City (2)

Kagoshima Prefectural Archaeological Center

The Suruga Bay-type pottery fragments excavated from
the Komaki site in Kanoya City

Kitazono Kazuyo

T Consideration about medieval toilet remains
in Kagoshima Prefecture

Hiramine Hiroto

The emergence and materials for flint
in Satsuma and Osumi

Fujiki Satoshi

Annual of Kagoshima Prefectural Archaeological Center of the
6nd year in Reiwa.

Kagoshima Prefectural Archaeological Center
October 2025

研究紀要・年報

縄文の森から

第
18
号

二〇二五

鹿児島県立埋蔵文化財センター